



Title	第4章 アイヌ・アイデンティティのパターンと分化要因
Author(s)	上山, 浩次郎
Citation	北海道アイヌ民族生活実態調査報告 : Ainu Report, 3, 91-123
Issue Date	2014-03-31
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/59134
Type	departmental bulletin paper
File Information	AINUrep03_6.pdf



第4章 アイヌ・アイデンティティのパターンと 分化要因

上山浩次郎

北海道大学大学院教育学研究院専門研究員

第1節 問題の所在

アイヌの人々が持つエスニック・アイデンティティ、すなわちアイヌとしてのアイデンティティは一律ではない。小内・長田（2012）は、札幌市とむかわ町に住むアイヌの人々を対象としたインタビュー調査をもとに、彼ら自身がアイヌであることについて「肯定的である」「否定的である」「どちらでもない」という3つのタイプが存在していること、さらにこうした意識の内実は世代により異なって分布していることなどを明らかにした。また、新藤（2013）でも、新ひだか町に住むアイヌの人々を対象としたインタビュー調査にもとづきながら、ほぼ同様の知見が指摘されている。

ここでは、こうしたアイヌの人々が持つアイヌとしてのアイデンティティについて、大規模なアンケート調査をもとに検討を加えてみたい。具体的には、大規模なアンケート調査という点を活かして、アイヌ・アイデンティティのパターンの分化要因について多変量解析を行う。

本論の構成は以下の通りである。次の第2節では、先行研究を検討したのち本論の視点と方法を述べる。そのことをふまえて、第3節でアイヌ・アイデンティティのパターンをその分化要因について分析を加えた後、第4節で知見を整理する。

第2節 視点と方法

第1項 先行研究

小内・長田（2012）や新藤（2013）では、特定地域でのインタビュー調査にもとづいて、アイヌとしてのアイデンティティの内実やその形成過程について検討を加えている。

そこでは、第1に、アイヌとしてのアイデンティティのパターンについて検討が加えられている。現在において、アイヌであることを「肯定的」に捉えているタイプ、「否定的」に捉えているタイプ、「どちらでもない」と考えているタイプという3つのタイプが存在しているものの、そのうち「肯定的」に捉えるタイプと「どちらでもない」と捉えるタイプの2つが多くを占めていることが明らかにされている。

次に、第2に、こうしたアイヌとしてのアイデンティティは、世代によって分布が異なっていることも明らかにされている。具体的には、最も世代が高い「老年層」においては「肯定的」と捉えるタイプが多いのに対して、世代が低い「青年層」においては「どちらでもない」と捉えるタイプが多い。すなわち、世代が高い（低い）ほど、アイヌであることを「肯定的」（「どちらでもない」）に捉えている。

第3に、こうした世代間の分布の違いをもたらすメカニズムを、生活史を明らかにすることを通して検討している。アイヌの人々の「老年層」や「壮年層」の多くは、過去から現在にかけて、

アイヌであることに対して「肯定的」な意識へと変化していた。たとえば、「否定的」な意識から「どちらでもない」へ、「どちらでもない」から「肯定的」な意識へと変化していた。こうした意識の変化の背景には、社会全体のアイヌに対する認識が肯定的な方向へ変化してきたことが存在している。そして、その点を背景としながら、アイヌ文化活動への参加やアイヌ関係団体への関与の機会があったことなどによって、「肯定的」な意識へと変化していた。

他方で、「青年層」の場合、「壮年層」や「老年層」と比べて、伝統文化や生活様式を体験する機会を持たない者が多く、それが「肯定的」でも「否定的」でもなく「どちらでもない」という意識を持つ者が主流となっている背景にある。

第4に、このことと関連して、アイヌ・アイデンティティのパターンの相違をもたらすメカニズムについても、事実上知見を提供している。すなわち、アイヌの伝統文化や生活様式とアイヌとしてのアイデンティティの関連のあり方についてである。そこでは、アイヌの伝統文化や生活様式に接する機会が少ない者ほど、アイヌとしてのアイデンティティを「どちらでもない」と評価する者が多いという関連があることを示唆している。

こうした試みは、生活史に即したインタビュー調査という点を活かしながらアイヌ・アイデンティティの変化のダイナミズムを描いている。また、アイヌ・アイデンティティのパターンの分化要因のメカニズムについても検討を加えている。

しかし、とくにアイヌ・アイデンティティのパターンの分化要因のメカニズムに関しては、他の要因との比較などを通してより慎重に検討されるべき事柄である。その意味で、その分化要因を、大規模なデータをもとにした多変量解析によって検討することには大きな意味があろう。

他方で、野崎（2010）では、小内編著（2010）で行ったアンケート調査をもとにアイヌの人々のエスニック・アイデンティティについて検討が加えられている。そこでは、半数程度の者が、アイヌであることを「まったく意識しない」と回答していることが明らかにされており、その意味において、アイヌであることを「どちらでもない」とする者が一定数を占めるという先に示したインタビュー調査をもとにした知見とほぼ同様の知見が得られている。

とはいえ、そこでは、アイヌ・アイデンティティが「肯定的」な者がどの程度存在するのか、「否定的」な者がどの程度存在するのかという論点、いわばアイヌ・アイデンティティのパターンについて十分な検討が加えられているとはいえない。さらに、このことを背景として、こうしたアイヌ・アイデンティティのパターンの分化要因についても検討が加えられてはいない。

以上をふまえると、大規模なアンケート調査をもとにして、アイヌ・アイデンティティのパターンとその分化要因について検討を加える必要があろう。

第2項 指標の設定

こうした論点を検討する場合、とりわけ重要なのは、アイヌ・アイデンティティのパターンをどのような指標で捉えるかという点である。その場合、まずは野崎（2010）で用いられている設問を利用することが妥当であろう。表4-1をみよう。そこにはアンケート調査の調査項目の一部を整理してある。具体的には、その問3「あなたはご自身をアイヌ民族として意識することはありますか」を用いる。そこでの選択肢は、「1. 常に意識している」から「4. まったく意識しない」の4点尺度であり、それゆえ「4. まったく意識しない」と回答した者は、アイヌであることを「まっ

たく意識しない」という意味で「脱アイヌ」的な意識を持つと解釈できよう。しかし、その選択肢からは、インタビュー調査の結果から明らかにしたような「肯定的」であるか「否定的」であるかを把握することができない。

だが、先のアンケート調査では、問11「あなたは、アイヌとして誇りを感じる点がありますか。当てはまるものすべてに○を付けてください」、問12「あなたは、アイヌとして嫌だと感じる点がありますか。当てはまるものすべてに○を付けてください」という設問がある。この設問を用いれば、小内・長田（2012）や新藤（2013）が指摘したようなアイヌであることに「肯定的」である者と「否定的」である者を識別できるように思える。なぜなら、アイヌとして誇りに（嫌だと）感じることは、アイヌであることに対して「肯定的（否定的）」かどうかを捉える指標になりうると判断できるからである。

この点をふまえると、問11と問12の選択肢（選択肢7（＝特にない）を除く）を選んだ数を計算し、その数が多いほど、誇りに（嫌だと）感じているとみなすことができる。そして、仮に、嫌だと感じる選択肢よりも誇りとして感じる選択肢が多い場合にはアイヌであることについて「肯定的」であり、誇りと感じる選択肢よりも嫌だと感じる選択肢が多い場合にはアイヌであることについて「否定的」であると考えることができよう。ただし、問11と問12に回答する選択肢の数が同数であることも考えられる。そこで、それを「中立的」なパターンとみなそう。

こうした分類を整理したのが図4-1である。すなわち、「脱アイヌ」「中立的」「否定的」「肯定的」の4つのタイプに分けることができる。

表4-1 アンケート調査の一部

問3. あなたは御自分をアイヌ民族として意識することはありますか。 1. 常に意識している 2. 意識することが多い 3. 時々意識する 4. まったく意識しない ※これ以降、問14までは問3（アイヌ民族としての意識）で「1. 常に意識している」「2. 意識することが多い」「3. 時々意識する」のいずれかを選んだ方だけにお聞きします。「4. まったく意識しない」を選んだ方は、問15からお答えください。 問11. あなたは、アイヌとしての誇りを感じる点がありますか。当てはまるものすべてに○を付けてください。 1. アイヌの歴史 2. アイヌの文化 3. アイヌ差別との戦い 4. アイヌの偉人たち 5. 身体的特徴 6. その他（ ） 7. 特にない 問12. あなたは、アイヌとして嫌だと感じる点がありますか。当てはまるものすべてに○を付けてください。 1. アイヌの歴史 2. アイヌの文化 3. アイヌ差別の経験 4. 生活水準 5. 身体的特徴 6. その他（ ） 7. 特にない

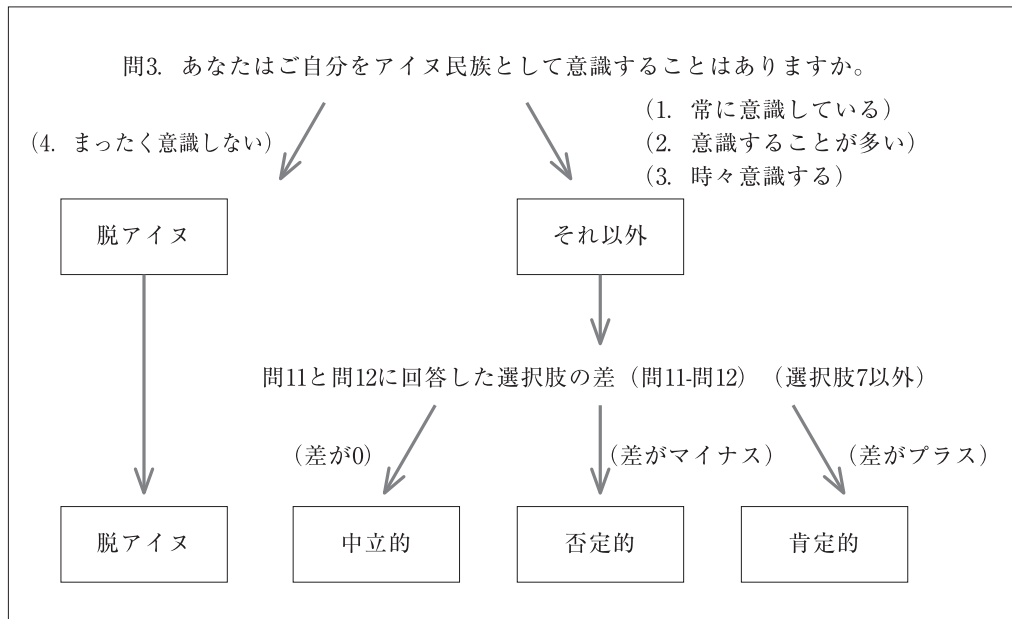


図4-1 アイヌ・アイデンティティのパターン

第3項 パターン分化のメカニズムの検討

それでは、こうしたアイヌ・アイデンティティのパターンは、どのような要因によって分化するのだろうか。

小内・長田（2012）では、先にもふれたように、アイヌ・アイデンティティのパターンが世代によって異なって分布していることが指摘されている。とくに、若い世代ほどアイヌであることに対して「肯定的」でも「否定的」でもなく、「どちらでもない」者が多く見られている。この点をふまえれば、世代によって、アイヌ・アイデンティティのパターンが異なると考えることができる。

ただ、小内・長田（2012）では、こうした世代の差がもたらされる背景の1つには、アイヌ文化の経験の多寡が関連していると解釈されている。また、新藤（2013）では、とくにアイヌ文化の経験に注目した分析がなされている。それらでは、とりわけ、若い世代ほどアイヌ文化にふれる経験がなく、それゆえにアイヌであることに対して「どちらでもない」という意識を持ちやすくなっていることが明らかにされている。この点をふまえれば、アイヌ文化の経験の多寡によって、アイヌ・アイデンティティのパターンが異なると考えることができる。

さらに、アイヌ性（純血性と婚姻関係類型）によってもアイヌ・アイデンティティのパターンが異なるかについても検討しよう。ただし、とくに婚姻関係類型を検討する際には、ジェンダー差を考慮することが重要である。本報告書第3章でもふれた小野寺（2012）では、和人数偶者のうち、和人数はアイヌ女性を「嫁にもらう」ために和人数の視点で思考し続けるのに対し、和人数妻はアイヌ男性と結婚したことをきっかけに、アイヌ社会の一員としての意識も強まると指摘されている。この点をふまえれば、同じ和人数偶者といっても、ジェンダーによってアイヌ・アイデンティティのパターンが異なると考えることができる。

他方で、和人を配偶者としているアイヌにとっても、ジェンダーによってアイヌ・アイデンティティが異なると考えることができる。同じ和人配偶者を持つといっても、たとえば、女性の場合には和人の家に「嫁ぐ」形になる。しかし他方で、男性の場合には和人を「嫁にもらう」形になる。こうした点は、自身のアイヌ・アイデンティティのあり方に影響を及ぼすのではないだろうか。それゆえ、婚姻関係に注目する際にはジェンダー差を考慮しながら分析を行う必要があるだろう。

本章では、こうした課題を検討する。その場合、多変量解析を用いることで、これらの変数の相対的影響力について明らかにする。

具体的な変数の説明をしておく。まず、世代に関しては、30歳代以下を「青年層」、40～50歳代以下を「壮年層」、60歳以上を「老年層」として3つのカテゴリを用いる。

アイヌ文化の経験は、第3章で用いたアイヌ文化の経験類型を用いる。すなわち、「両方多い」「宗教儀礼多い」「伝承復興多い」「両方少ない」の4カテゴリを用いる。

純血性と婚姻関係類型についても、本報告書の第3章で用いた指標を用いる。すなわち、純血性については、「両親とも」「片方の親のみ」「その他」の3カテゴリを持つ変数、婚姻関係類型については、「アイヌ配偶者を持つアイヌ」「和人配偶者を持つアイヌ」「未婚アイヌ」「和人配偶者」の4カテゴリを持つ変数を用いる。

第3節 分析と考察

第1項 アイヌ・アイデンティティのパターン

まず、アイヌ・アイデンティティのパターンがどのように分布しているかを見よう。表4-2と図4-2に、先に述べた指標をもとに作成したアイヌ・アイデンティティを整理した。

それによれば、「脱アイヌ」の者が48.0%と最も多く存在していることがわかる。それ以外のパターンを見ると、「中立的」が20.7%、「否定的」が14.2%、「肯定的」が17.1%存在している。小内・長田（2012）では、「どちらでもない」が半数程度、「肯定的」が4割程度となっており、その意味で、ここで用いているアンケート調査の結果では「肯定的」と回答する者が少ない。この相違は、指標の違いによるものなのか、調査方法の違いによるものなのか、さらに検討が必要だろう¹⁾。とはいえ、「脱アイヌ」的な意識が多数を占めているという点は共通して見られる。

表4-2（図4-2） アイヌ・アイデンティティのパターン

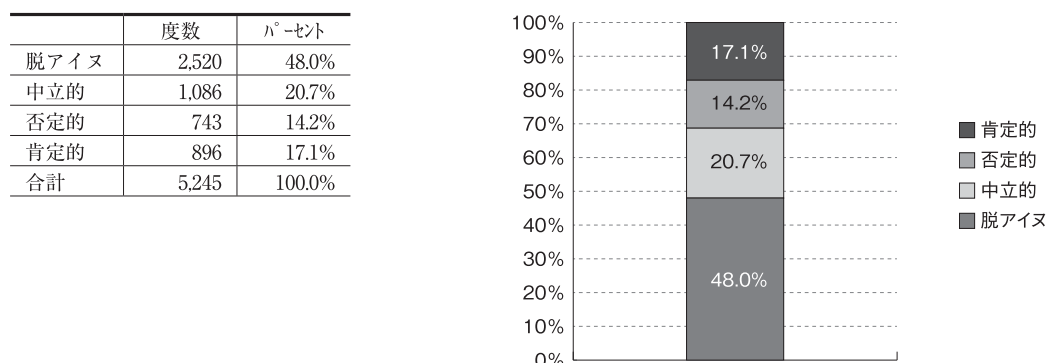


表4-3 アイヌ・アイデンティティ×アイヌであることをどの程度意識するか

		常に意識している	意識することが多い	時々意識する	合計
中立的	度数	259	199	628	1,086
	割合	23.8%	18.3%	57.8%	100.0%
	調整済み残差	- 2.651	- 3.717	5.422	0.000
否定的	度数	162	182	399	743
	割合	21.8%	24.5%	53.7%	100.0%
	調整済み残差	- 3.473	1.969	1.440	0.000
肯定的	度数	304	217	375	896
	割合	33.9%	24.2%	41.9%	100.0%
	調整済み残差	6.055	2.007	- 7.016	0.000
合計	度数	725	598	1402	2,725
	割合	26.6%	21.9%	51.4%	100.0%

p = 0.000

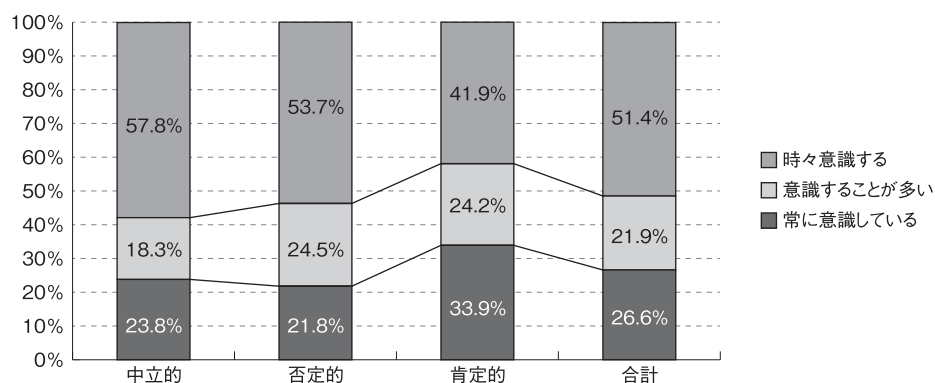


図4-3 アイヌ・アイデンティティ×アイヌであることをどの程度意識するか

ところで、図4-1で示したように、こうしたアイヌ・アイデンティティのうち「中立的」「否定的」「肯定的」は、問3「あなたはご自身をアイヌ民族として意識することはありますか」において、「1. 常に意識している」「2. 意識することが多い」「3. 時々意識する」を選んだ者が含まれている。その意味で、アイヌ・アイデンティティの「強さ」が違っている。では、こうした「強さ」は、「中立的」「否定的」「肯定的」で異なっているのだろうか。そこで、表4-3と図4-3をみよう。そこには、「中立的」「否定的」「肯定的」の3者と先に述べたアイヌ・アイデンティティの「強さ」のクロス表を整理した。

それによれば、アイヌ・アイデンティティのパターンとその「強さ」には関連が見られることがわかる。具体的にいえば、まず「中立的」な者は、「時々意識する」が57.8%、調整済み残差が5.422²⁾であり、有意に値が高くなっている。次に、「否定的」な者を見ると、「意識することが多い」で24.5%、調整済み残差が1.969となっており、さらに「肯定的」な者を見ると、「意識することが多い」で24.2%、調整済み残差が2.007、「常に意識している」で33.9%、調整済み残差が6.055となっており、それらで有意に値が高い。その意味で、「中立的」から「肯定的」になるほど、アイヌであることを強く意識していると考えることができる。

また、アイヌ・アイデンティティのうち「中立的」「否定的」「肯定的」は、問11と問12の選択肢を回答した数（の差）からパターン分けをしている。そこで、具体的にはどのような選択肢が選ばれていたのかを確認しておこう。

表4-4 アイヌとしての誇りを感じる点

		アイヌ の歴史	アイヌ の文化	アイヌ 差別と の戦い	アイヌ の偉人 たち	身体的 特徴	その他	特に ない	回答者 数	回答数
中立的	度数	194	313	163	64	42	13	505	1,086	1,294
否定的	度数	43	117	82	29	24	6	495	743	796
肯定的	度数	631	724	346	362	83	29	0	896	2,175
合計	度数	868	1,154	591	455	149	48	1,000	2,725	4,265
中立的	割合	17.9%	28.8%	15.0%	5.9%	3.9%	1.2%	46.5%	100.0%	
否定的	割合	5.8%	15.7%	11.0%	3.9%	3.2%	0.8%	66.6%	100.0%	
肯定的	割合	70.4%	80.8%	38.6%	40.4%	9.3%	3.2%	0.0%	100.0%	
合計	割合	31.9%	42.3%	21.7%	16.7%	5.5%	1.8%	36.7%	100.0%	

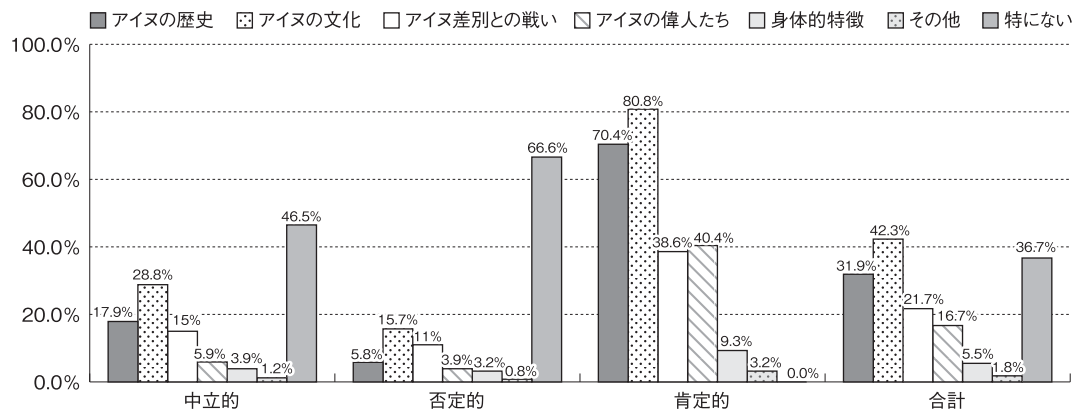


図4-4 アイヌとしての誇りを感じる点

表4-5 アイヌとして嫌だと感じる点

		アイヌ の歴史	アイヌ の文化	アイヌ 差別の 経験	生活 水準	身体的 特徴	その他	特に ない	回答者 数	回答数
中立的	度数	15	19	373	139	226	17	505	1,086	1,294
否定的	度数	36	30	540	265	467	17	0	743	1,355
肯定的	度数	14	5	262	136	180	14	461	896	1,072
合計	度数	65	54	1,175	540	873	48	966	2,725	3,721
中立的	割合	1.4%	1.7%	34.3%	12.8%	20.8%	1.6%	46.5%	100.0%	
否定的	割合	4.8%	4.0%	72.7%	35.7%	62.9%	2.3%	0.0%	100.0%	
肯定的	割合	1.6%	0.6%	29.2%	15.2%	20.1%	1.6%	51.5%	100.0%	
合計	割合	2.4%	2.0%	43.1%	19.8%	32.0%	1.8%	35.4%	100.0%	

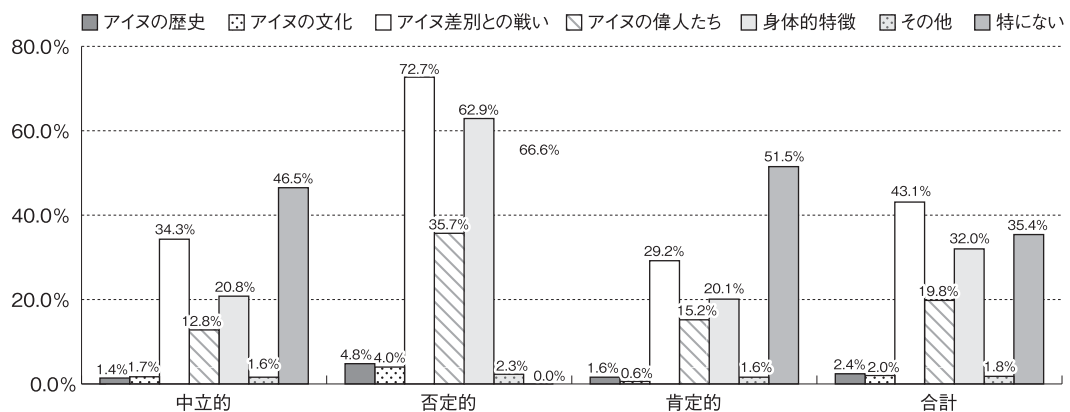


図4-5 アイヌとして嫌だと感じる点

まず、表4-4と図4-4から、具体的にどのような点を誇りであると感じているのかを検討しよう。はじめに全体の動向を確認すると、野崎（2010）でも指摘されているように、「アイヌの文化」であることや「アイヌの歴史」について誇りを感じている者が多い。具体的には、「アイヌの文化」を42.3%の者が、「アイヌの歴史」を31.9%の者が選択している。続いて多いのは、「アイヌ差別との戦い」の21.7%、「アイヌの偉人たち」の16.7%である。

パターン別に見ると、「肯定的」な者は、いうまでもなく、全体と比べて回答する割合が高い。ただし、全体との動向と基本的にはほぼ同様の回答傾向が見られる。すなわち、「アイヌの文化」（80.8%）、「アイヌの歴史」（70.4%）が多く、それに続いて「アイヌの偉人たち」40.4%、「アイヌ差別との戦い」38.6%となっている。

さらに、「中立的」と「否定的」を見てみよう。まず、指摘すべきは、誇りと感じる点が「特になし」とする者が多数であることである。すなわち、「中立的」では46.5%の者が、「否定的」では66.6%の者が誇りである点がないと回答しているのである。しかし、このことは、逆にいえば、「中立的」な者において約54%の者が、「否定的」な者においても約33%の者が、アイヌとしての誇りを感じる点があることも示している。

では、「中立的」「否定的」な者は、どのような点を誇りと感じているのだろうか。それは「肯定的」な者とは異なるのだろうか。分析結果を見ると、回答する者の割合は低いもののどのような項目を回答するかという傾向は、「肯定的」と基本的には同様である。実際、「中立的」な者も「否定的」な者も、「アイヌ文化」を最も多く誇りであると回答している（「中立的」で28.8%、「否定的」で15.7%）。ただ、「否定的」においては、相対的に「アイヌ差別との戦い」が高く回答されるという傾向が見られる特徴がある。先にもふれたように、全体的な動向では、「アイヌ差別との戦い」は、「アイヌの文化」「アイヌの歴史」の次に回答数が多かった。しかし、「否定的」な者に限っていえば、「アイヌ差別との戦い」（11.0%）は、「アイヌの歴史」（5.8%）よりも多く回答されているのである。その意味において、誇りである点を感じにくい「否定的」な者においては、「アイヌ差別との戦い」は、相対的に誇りを感じさせる事項となっているといえよう。

続けて、表4-5と図4-5から、アイヌとして嫌だと感じる点を確認しよう。まずは、全体的な動向を確認すると、「アイヌ差別の経験」が43.1%と最も多く回答され、続いて、「身体的な特徴」が32.0%の者に回答されている。さらに、「生活水準」は19.8%の者が回答している。

パターン別に回答状況をみよう。はじめに「否定的」な者を見ると、「アイヌ差別の経験」が72.7%、「身体的な特徴」が62.9%、「生活水準」が35.7%となっており、全体と比べて回答者割合は高いものの、どのような選択肢が多く（少なく）選ばれるのかという回答傾向には違いが見られない。さらに、「中立的」「肯定的」な者を見ると、「特になし」と回答する者が、「中立的」で46.5%、「肯定的」で51.5%とそれぞれ約半数存在している。むろん、このことは、「中立的」「肯定的」な者のうちでも、アイヌとして嫌だと感じる点があることを意味している。ただ、「アイヌ差別の経験」「身体的な特徴」「生活水準」の順で回答する者が多いという点は、「中立的」「肯定的」でも同様に見られる。

第2項 クロス表分析

それでは、先に確認したアイヌ・アイデンティティのパターンはどのような要因によって分化しているのだろうか。まずは、クロス表分析を行おう。

表4-6と図4-6には、世代別にアイヌ・アイデンティティを整理した。それによれば、まずは世代が若い者ほど「脱アイヌ」的な意識を持っていることがわかる。すなわち、「脱アイヌ」の者が「青年層」において61.5%いるのに対して、「壮年層」が46.3%、「老年層」が36.3%にすぎない。逆に、世代が高くなるほど「脱アイヌ」的な意識以外の意識（「中立的」「否定的」「肯定的」）を持っている。たとえば、「肯定的」を見ると、「青年層」11.4%、「壮年層」18.1%、「老年層」21.7%となっているのである。こうしてみれば、小内・長田（2012）や新藤（2013）で指摘された知見は、ここでも確認することができる。

では、世代によって、「中立的」「否定的」「肯定的」の3パターンに違いが見られるのだろうか。この点を明確にするため、これら3つを取り出して作成したクロス表も表4-6と図4-6に示してある。そこで、 χ^2 乗値の有意確率を見ると $p=0.166$ となっており、世代と「中立的」「否定的」「肯定的」に関連があるとはいえない。すなわち、世代によって、「中立的」「否定的」「肯定的」の3者には違いが見られない。

次に、アイヌ文化の経験別にアイヌ・アイデンティティを確認しよう。ここでは、先にもふれたように本報告書第3章で用いた「両方少ない」「伝承復興多い」「宗教儀礼多い」「両方多い」の4カテゴリを用いて分析する。表4-7と図4-7にそれを整理した。

ここからは、アイヌ文化の経験が少ない者ほど「脱アイヌ」的な意識を持っていることがわかる。具体的に値を確認すると、アイヌ文化が「両方少ない」者の67.6%が「脱アイヌ」と回答しているのに対し、「伝承復興多い」者が54.8%、「宗教儀礼多い」者が41.8%、「両方多い」が23.7%となっているのである。他方で、アイヌ文化の経験が多い者ほど、「脱アイヌ」以外の意識（「中立的」「否定的」「肯定的」の3者）を持つ者が多い。たとえば、「否定的」な者を見ると、アイヌ文化の経験が「両方少ない」者で9.1%、「伝承復興多い」で11.6%、「宗教儀礼多い」で14.9%、「両方多い」者で20.6%となっている。

それでは、アイヌ文化の経験によって、「中立的」「否定的」「肯定的」の3つは分化するのだろうか。そこで、調整済み残差を見ると、アイヌ文化の経験が「両方多い」者において、「肯定的」と回答する者が29.6%、調整済み残差が16.301と値が最も大きい。すなわち、アイヌ文化の経験が「両方多い」者はとくに「肯定的」な意識を持ちやすいのである。その意味で、アイヌ文化の経験が多い者ほど、「肯定的」な意識を持つという関連が見られよう。

さらに、純血性別に検討しよう。その際には、本報告書第3章で用いた変数を用いる。すなわち、「両親とも」「片方の親」「その他」の3カテゴリの変数である。表4-8と図4-8にクロス表を整理した。ここからは、アイヌの血筋が「薄い」者ほど、アイヌの血筋ではない者ほど、「脱アイヌ」意識を持つことがわかる。すなわち、「脱アイヌ」意識は、「両親とも」で15.2%、「片方の親」で39.2%、「その他」で81.8%となっているのである。他方で、「両親とも」では「脱アイヌ」意識以外の3つの意識（「中立的」「否定的」「肯定的」）が相対的に多くを占めている。では、これらの3つの意識は純血性によって違いが見られるのだろうか。その点を検討するため「脱アイヌ」意識を除いてクロス表分析を行った。それも表4-8と図4-8に整理してある。

表4-6 世代別にみたアイヌ・アイデンティティ

		脱アイヌ	中立的	否定的	肯定的	合計
青年層	度数	940	243	171	174	1,528
	割合	61.5%	15.9%	11.2%	11.4%	100.0%
	調整済み残差	12.523	- 5.535	- 3.903	- 7.050	
壮年層	度数	1,051	468	340	411	2,270
	割合	46.3%	20.6%	15.0%	18.1%	100.0%
	調整済み残差	- 2.246	- 0.172	1.577	1.708	
老年層	度数	509	367	223	304	1,403
	割合	36.3%	26.2%	15.9%	21.7%	100.0%
	調整済み残差	- 10.342	5.873	2.243	5.327	
合計	度数	2,500	1,078	734	889	5,201
	割合	48.1%	20.7%	14.1%	17.1%	100.0%

p = 0.000

		中立的	否定的	肯定的	合計
青年層	度数	243	171	174	588
	割合	41.3%	29.1%	29.6%	100.0%
	調整済み残差	0.792	1.175	- 1.938	0.000
壮年層	度数	468	340	411	1,219
	割合	38.4%	27.9%	33.7%	100.0%
	調整済み残差	- 1.462	0.759	0.805	0.000
老年層	度数	367	223	304	894
	割合	41.1%	24.9%	34.0%	100.0%
	調整済み残差	0.851	- 1.833	0.849	0.000
合計	度数	1,078	734	889	2,701
	割合	39.9%	27.2%	32.9%	100.0%

p = 0.166

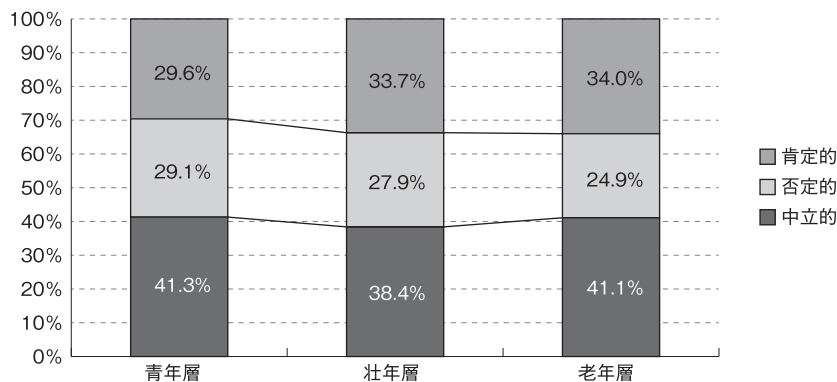
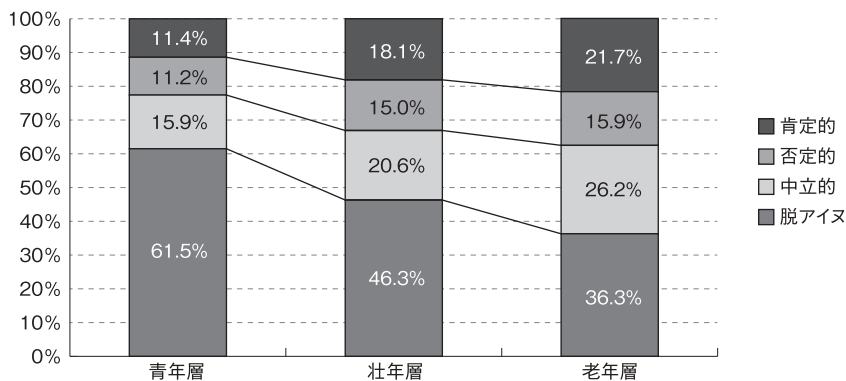


図4-6 世代別にみたアイヌ・アイデンティティ

表4-7 アイヌ文化の経験別にみたアイヌ・アイデンティティ

		脱アイヌ	中立的	否定的	肯定的	合計
両方少ない	度数	1,213	301	163	117	1,794
	割合	67.6%	16.8%	9.1%	6.5%	100.0%
	調整済み残差	21.471	- 6.744	- 7.824	- 14.481	
伝承復興多い	度数	170	64	36	40	310
	割合	54.8%	20.6%	11.6%	12.9%	100.0%
	調整済み残差	2.152	- 0.424	- 1.147	- 1.392	
宗教儀礼多い	度数	239	158	85	90	572
	割合	41.8%	27.6%	14.9%	15.7%	100.0%
	調整済み残差	- 3.725	3.791	0.822	0.053	
両方多い	度数	292	321	254	365	1,232
	割合	23.7%	26.1%	20.6%	29.6%	100.0%
	調整済み残差	- 21.446	4.596	8.433	16.301	0
合計	度数	1,914	844	538	612	3,908
	割合	49.0%	21.6%	13.8%	15.7%	100.0%

p = 0.000

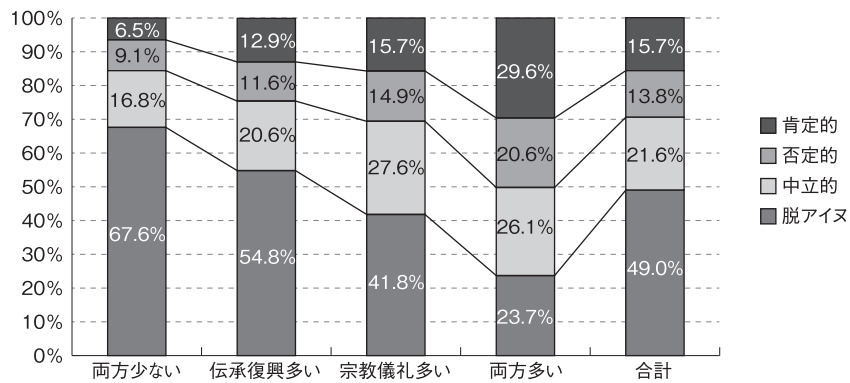


図4-7 アイヌ文化の経験別にみたアイヌ・アイデンティティ

表4-8 純血性別にみたアイヌ・アイデンティティ

		脱アイヌ	中立的	否定的	肯定的	合計
両親とも	度数	160	306	292	297	1,055
	割合	15.2%	29.0%	27.7%	28.2%	100.0%
	調整済み残差	- 20.846	5.925	11.830	9.031	
片方の親のみ	度数	980	597	419	503	2,499
	割合	39.2%	23.9%	16.8%	20.1%	100.0%
	調整済み残差	- 5.717	2.760	1.600	2.810	
その他	度数	820	115	17	50	1,002
	割合	81.8%	11.5%	1.7%	5.0%	100.0%
	調整済み残差	28.098	- 9.350	- 13.970	- 12.573	
合計	度数	1,960	1,018	728	850	4,556
	割合	43.0%	22.3%	16.0%	18.7%	100.0%

p = 0.000

		中立的	否定的	肯定的	合計
両親とも	度数	306	292	297	895
	割合	34.2%	32.6%	33.2%	100.0%
	調整済み残差	- 3.803	3.770	0.348	0.000
片方の親のみ	度数	597	419	503	1,519
	割合	39.3%	27.6%	33.1%	100.0%
	調整済み残差	0.109	- 0.619	0.479	0.000
その他	度数	115	17	50	182
	割合	63.2%	9.3%	27.5%	100.0%
	調整済み残差	6.869	- 5.825	- 1.571	0.000
合計	度数	1,018	728	850	2,596
	割合	39.2%	28.0%	32.7%	100.0%

p = 0.000

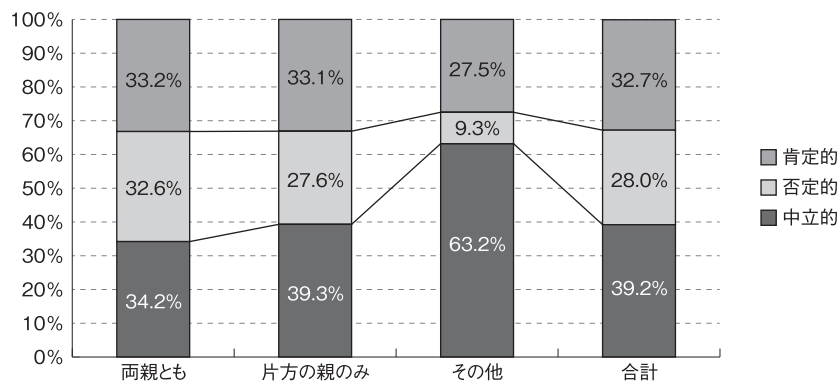
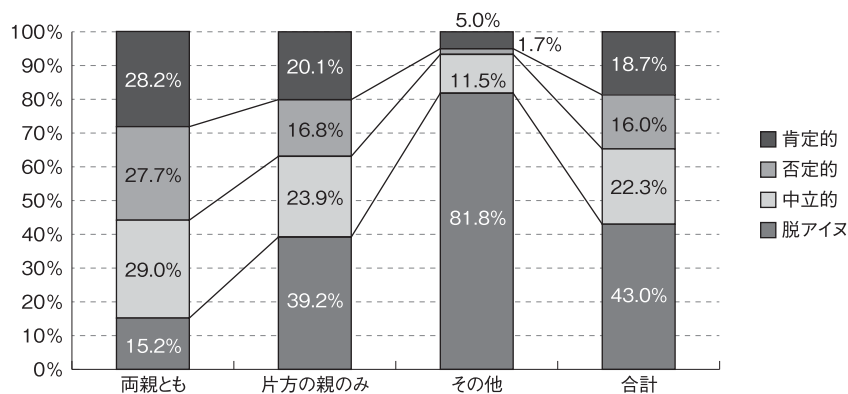


図4-8 純血性別にみたアイヌ・アイデンティティ

表4-9 婚姻関係別にみたアイヌ・アイデンティティ

		脱アイヌ	中立的	否定的	肯定的	合計
アイヌ配偶者を持つアイヌ	度数	138	184	163	184	669
	割合	20.6%	27.5%	24.4%	27.5%	100.0%
	調整済み残差	- 12.639	3.668	6.079	6.365	
和人配偶者を持つアイヌ	度数	464	469	396	456	1,785
	割合	26.0%	26.3%	22.2%	25.5%	100.0%
	調整済み残差	- 18.889	5.585	8.711	9.758	
未婚アイヌ	度数	461	182	120	115	878
	割合	52.5%	20.7%	13.7%	13.1%	100.0%
	調整済み残差	6.520	- 1.103	- 2.442	- 4.782	
和人配偶者	度数	748	100	14	36	898
	割合	83.3%	11.1%	1.6%	4.0%	100.0%
	調整済み残差	27.624	- 8.925	- 13.523	- 12.722	0
合計	度数	1,811	935	693	791	4,230
	割合	42.8%	22.1%	16.4%	18.7%	100.0%

p = 0.000

		中立的	否定的	肯定的	合計
アイヌ配偶者を持つアイヌ	度数	184	163	184	531
	割合	34.7%	30.7%	34.7%	100.0%
	調整済み残差	- 0.347	0.305	0.054	0.000
和人配偶者を持つアイヌ	度数	469	396	456	1,321
	割合	35.5%	30.0%	34.5%	100.0%
	調整済み残差	0.347	- 0.305	- 0.054	0.000
合計	度数	653	559	640	1,852
	割合	35.3%	30.2%	34.6%	100.0%

p = 0.930

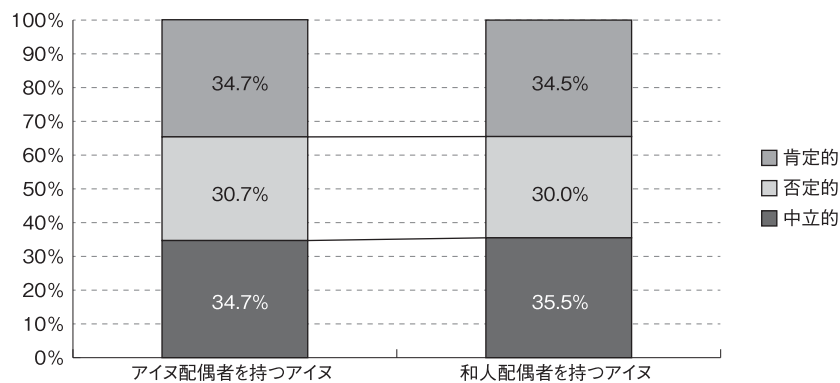
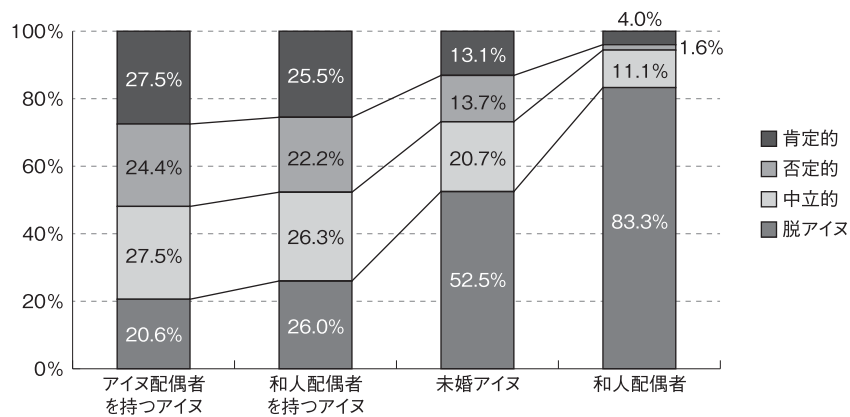


図4-9 婚姻関係別にみたアイヌ・アイデンティティ

表4-10 性別×婚姻関係類型×アイヌ・アイデンティティ

			脱アイヌ	中立的	否定的	肯定的	合計
男性	アイヌ配偶者を持つアイヌ	度数	59	85	72	82	298
		割合	19.8%	28.5%	24.2%	27.5%	100.0%
		調整済み残差	- 8.738	2.534	5.085	3.705	
	和人配偶者を持つアイヌ	度数	284	258	168	257	967
		割合	29.4%	26.7%	17.4%	26.6%	100.0%
		調整済み残差	- 11.627	3.882	3.393	7.385	
	未婚アイヌ	度数	277	105	64	65	511
		割合	54.2%	20.5%	12.5%	12.7%	100.0%
		調整済み残差	5.851	- 1.400	- 1.479	- 4.503	
	和人配偶者	度数	295	37	5	13	350
		割合	84.3%	10.6%	1.4%	3.7%	100.0%
		調整済み残差	17.052	- 5.971	- 7.611	- 8.196	
	合計	度数	915	485	309	417	2,126
		割合	43.0%	22.8%	14.5%	19.6%	100.0%

p = 0.000

女性	アイヌ配偶者を持つアイヌ	度数	79	99	90	101	369
		割合	21.4%	26.8%	24.4%	27.4%	100.0%
		調整済み残差	- 9.083	2.806	3.395	5.314	
	和人配偶者を持つアイヌ	度数	180	210	227	199	816
		割合	22.1%	25.7%	27.8%	24.4%	100.0%
		調整済み残差	- 15.205	3.871	9.109	6.325	
	未婚アイヌ	度数	184	77	56	50	367
		割合	50.1%	21.0%	15.3%	13.6%	100.0%
		調整済み残差	3.197	- 0.211	- 1.607	- 2.288	
	和人配偶者	度数	452	63	9	23	547
		割合	82.6%	11.5%	1.6%	4.2%	100.0%
		調整済み残差	21.995	- 6.549	- 11.669	- 9.652	
	合計	度数	895	449	382	373	2,099
		割合	42.6%	21.4%	18.2%	17.8%	100.0%

p = 0.000

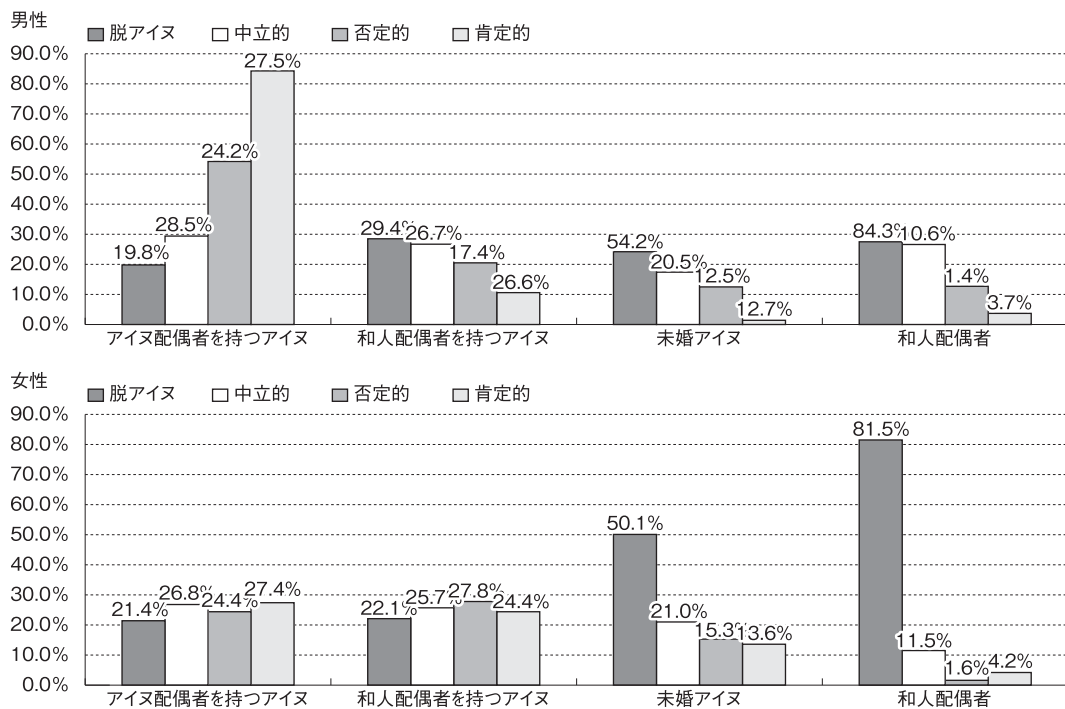


図4-10 性別×婚姻関係類型×アイヌ・アイデンティティ

表4-11 婚姻関係類型×性別×アイス・アイデンティティ

			脱アイス	中立的	否定的	肯定的	合計
アイス配偶者を持つアイス	男性	度数	59	85	72	82	298
		割合	19.8%	28.5%	24.2%	27.5%	100.0%
		調整済み残差	- 0.510	0.487	- 0.069	0.042	0.000
	女性	度数	79	99	90	101	369
		割合	21.4%	26.8%	24.4%	27.4%	100.0%
		調整済み残差	0.510	- 0.487	0.069	- 0.042	0.000
	合計	度数	138	184	162	183	667
		割合	20.7%	27.6%	24.3%	27.4%	100.0%

p = 0.944

和人配偶者を持つアイス	男性	度数	284	258	168	257	967
		割合	29.4%	26.7%	17.4%	26.6%	100.0%
		調整済み残差	3.505	0.452	- 5.291	1.056	0.000
	女性	度数	180	210	227	199	816
		割合	22.1%	25.7%	27.8%	24.4%	100.0%
		調整済み残差	- 3.505	- 0.452	5.291	- 1.056	0.000
	合計	度数	464	468	395	456	1783
		割合	26.0%	26.2%	22.2%	25.6%	100.0%

p = 0.000

未婚アイス	男性	度数	277	105	64	65	511
		割合	54.2%	20.5%	12.5%	12.7%	100.0%
		調整済み残差	1.192	- 0.156	- 1.163	- 0.392	0.000
	女性	度数	184	77	56	50	367
		割合	50.1%	21.0%	15.3%	13.6%	100.0%
		調整済み残差	- 1.192	0.156	1.163	0.392	0.000
	合計	度数	461	182	120	115	878
		割合	52.5%	20.7%	13.7%	13.1%	100.0%

p = 0.573

和人配偶者	男性	度数	295	37	5	13	350
		割合	84.3%	10.6%	1.4%	3.7%	100.0%
		調整済み残差	0.647	- 0.439	- 0.255	- 0.365	0.000
	女性	度数	452	63	9	23	547
		割合	82.6%	11.5%	1.6%	4.2%	100.0%
		調整済み残差	- 0.647	0.439	0.255	0.365	0.000
	合計	度数	747	100	14	36	897
		割合	83.3%	11.1%	1.6%	4.0%	100.0%

p = 0.933

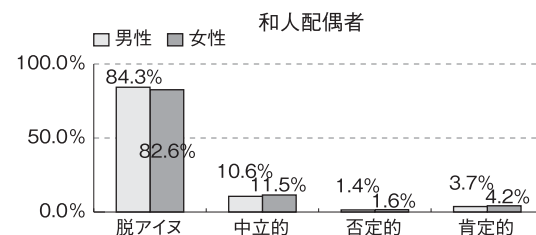
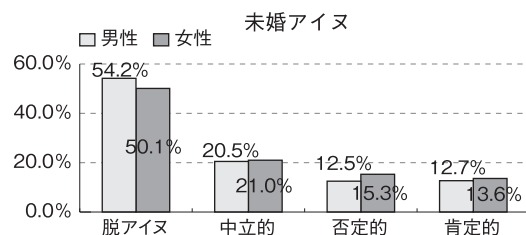
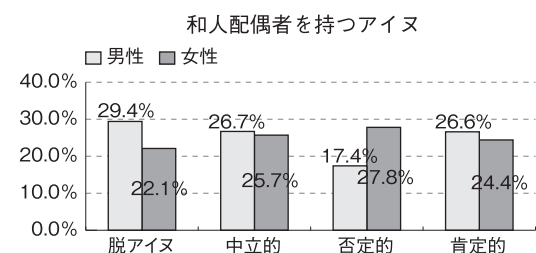
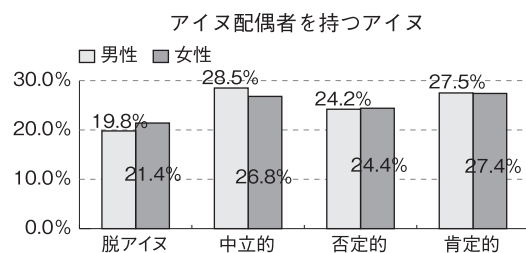


図4-11 婚姻関係類型×性別×アイス・アイデンティティ

表4-12 「性別×婚姻関係類型」×アイヌ・アイデンティティ

		脱アイヌ	中立的	否定的	肯定的	合計
男性×アイヌ配偶者を持つアイヌ	度数	59	85	72	82	298
	割合	19.8%	28.5%	24.2%	27.5%	100.0%
	調整済み残差	- 8.337	2.769	3.779	4.050	
女性×アイヌ配偶者を持つアイヌ	度数	79	99	90	101	369
	割合	21.4%	26.8%	24.4%	27.4%	100.0%
	調整済み残差	- 8.708	2.288	4.368	4.473	
男性×和人配偶者を持つアイヌ	度数	284	258	168	257	967
	割合	29.4%	26.7%	17.4%	26.6%	100.0%
	調整済み残差	- 9.640	3.903	0.975	7.156	
女性×和人配偶者を持つアイヌ	度数	180	210	227	199	816
	割合	22.1%	25.7%	27.8%	24.4%	100.0%
	調整済み残差	- 13.355	2.781	9.856	4.640	
男性×未婚アイヌ	度数	277	105	64	65	511
	割合	54.2%	20.5%	12.5%	12.7%	100.0%
	調整済み残差	5.538	- 0.906	- 2.497	- 3.697	
女性×未婚アイヌ	度数	184	77	56	50	367
	割合	50.1%	21.0%	15.3%	13.6%	100.0%
	調整済み残差	2.956	- 0.544	- 0.594	- 2.609	
男性×和人配偶者	度数	295	37	5	13	350
	割合	84.3%	10.6%	1.4%	3.7%	100.0%
	調整済み残差	16.361	- 5.430	- 7.884	- 7.507	
女性×和人配偶者	度数	452	63	9	23	547
	割合	82.6%	11.5%	1.6%	4.2%	100.0%
	調整済み残差	20.157	- 6.397	- 9.969	- 9.318	
合計	度数	1,810	934	691	790	4,225
	割合	42.8%	22.1%	16.4%	18.7%	100.0%

p = 0.000

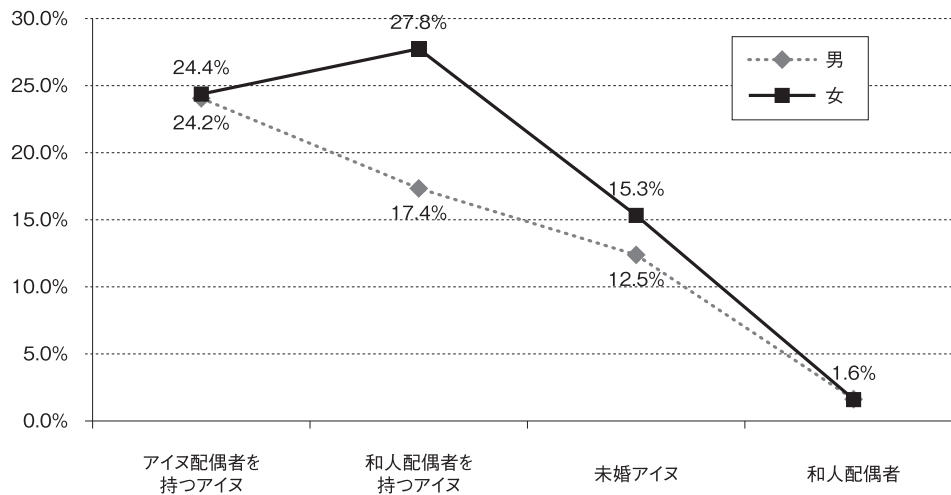


図4-12 「性別×婚姻関係類型」×アイヌ・アイデンティティ (「否定的」のみ)

それによれば、「両親とも」においては、「否定的」な意識を持ちやすいことがわかる。すなわち、「両親とも」において「否定的」な者は32.6%、調整済み残差で3.770となっており、その意味で、「否定的」になりやすいのである。ここからは、アイヌの血筋が「濃い」者ほど「否定的」なアイヌ・アイデンティティになりやすいと判断できる。

さらに、表4-9と図4-9には、婚姻関係別にアイヌ・アイデンティティを整理した。まず、 χ^2 乗値の有意確率を確認すると0.000であり、婚姻関係によってアイヌ・アイデンティティには異なりが見られると判断できる。そこで、具体的な値を確認しよう。「脱アイヌ」と回答する者を見ると、「アイヌ配偶者を持つアイヌ」で20.6%、「和人配偶者を持つアイヌ」で26.0%なのに対し、「未婚アイヌ」で52.5%、「和人配偶者」では83.3%となっており、「未婚アイヌ」と「和人配偶者」とくに「和人配偶者」において「脱アイヌ」意識を持ちやすいことがわかる。

ここで、「和人配偶者」が「脱アイヌ」意識を持ちやすいのは、先ほど確認した純血性の分析からうかがわれるようにアイヌの血筋を持たないからであろう。また、「未婚アイヌ」で「脱アイヌ」意識が高いのは結婚をしていないからであろう。その意味で、配偶者を得ることは「脱アイヌ」意識をもちにくくさせていると解釈できる。ただし、「未婚アイヌ」の場合、多くの者は世代が若い³⁾。その意味で、先に確認した世代の影響、すなわち「青年層」ほど「脱アイヌ」意識を持つという関連によって、「未婚アイヌ」において「脱アイヌ」意識が強くみられている可能性もある。

他方で、「アイヌ配偶者を持つアイヌ」と「和人配偶者を持つアイヌ」では、「脱アイヌ」意識以外の3つのパターン、すなわち「中立的」「否定的」「肯定的」の3者がそれぞれ2割程度存在しており、相対的に多く回答が見られている。

では、「アイヌ配偶者を持つアイヌ」と「和人配偶者を持つアイヌ」ではアイヌ・アイデンティティが異なるのだろうか。そこで、「アイヌ配偶者を持つアイヌ」と「和人配偶者を持つアイヌ」のみを抜き出したクロス表も作成した。そこからは、 χ^2 乗値の有意確率は0.948となっており、「アイヌ配偶者を持つアイヌ」と「和人配偶者を持つアイヌ」によってはアイヌ・アイデンティティには異なりが見られない。

以上をふまえると、とくに「和人配偶者」で「脱アイヌ」意識が強い点からはアイヌの血筋の有無によって、「未婚アイヌ」で「脱アイヌ」意識が強い点からは婚姻の有無によって、アイヌ・アイデンティティが異なることが明らかとなろう。その意味で、婚姻関係類型によって、アイヌ・アイデンティティに異なりが見られる。ただし、「未婚アイヌ」で「脱アイヌ」意識が強い点は、世代の影響によってもたらされている可能性も否定できない。

とはいえ、先ほどふれたように、婚姻関係類型からアイヌ・アイデンティティを検討する場合、ジェンダー差を考慮した方がよい。そこで、表4-10と図4-10には、性別婚姻関係別にアイヌ・アイデンティティを整理した。

そこからは、男性に限って婚姻関係類型とアイヌ・アイデンティティの関連を見ても、女性に限って婚姻関係類型とアイヌ・アイデンティティの関連をみても、先ほど確認したような傾向が確認できる。すなわち、「和人配偶者」と「未婚アイヌ」で「脱アイヌ」意識を持つ者が多い点、「アイヌ配偶者を持つアイヌ」と「和人配偶者を持つアイヌ」では「脱アイヌ」以外の意識（「中立的」「否定的」「肯定的」）を持つ者が相対的に多い点などを確認できる。

しかし、詳細に確認すると、男女間で違いが見られる点も存在している。「和人配偶者を持つアイヌ」を見よう。はじめに男性の「和人配偶者を持つアイヌ」（「和人妻を持つアイヌ夫」）を確認すると、「否定的」な意識を持つ者は17.4%となっている。だが、女性の「和人配偶者を持つアイヌ」（「和人夫を持つアイヌ妻」）を見ると、「否定的」な意識を持つ者は27.8%となっており、「和人夫を持つアイヌ妻」ほど「否定的」な意識を持つ者が多いのである。

この点を明確にとらえるため、表4-11と図4-11に婚姻関係別性別にアイヌ・アイデンティティを整理した。それによると、「アイヌ配偶者を持つアイヌ」「未婚アイヌ」「和人配偶者」においては χ^2 乗値の有意確率は有意水準をクリアしていないものの、「和人配偶者を持つアイヌ」において χ^2 乗値の有意確率は0.000となっている。ここからは、「和人配偶者を持つアイヌ」においてのみ、アイヌ・アイデンティティに男女差が存在すると判断できよう。すなわち、同じ「和人配偶者を持つ」アイヌといっても、和人妻を「もらった」アイヌ夫は「否定的」なアイヌ・アイデンティティを持ちにくく、和人夫に「嫁いだ」アイヌ妻は「否定的」なアイヌ・アイデンティティを持ちやすいのである。

なお、こうした点は、本報告書第3章で作成した「性別×婚姻関係類型」からも確認できる。表4-12と図4-12を見よう。そこで、「女性×和人配偶者を持つアイヌ」を見ると、「否定的」が27.8%、調整済み残差が9.856となっており有意となっているのである。図4-12には「否定的」の回答のみを抜き出した線グラフを整理した。ここからは、婚姻関係類型のカテゴリのうち「和人配偶者を持つアイヌ」のみで男女差が見られることを視覚的に確認できよう。

第3項 ロジスティック回帰分析

それでは、こうした関連は、他の変数の影響力を考慮しても見られるものなのだろうか。そこで多変量解析を行おう。具体的には、従属変数が4つのカテゴリなので、多項ロジスティック回帰分析を用いる。独立変数は、先に検討した変数以外に、本報告書第3章で用いた変数を用いる。なお、ここでも純血性と婚姻関係類型を同時に分析するために「純血性×婚姻関係類型」を用いる。すなわち、

- ・「両親ともアイヌ×アイヌ配偶者を持つアイヌ」
- ・「両親ともアイヌ×和人配偶者を持つアイヌ」
- ・「両親ともアイヌ×未婚アイヌ」
- ・「片方の親のみアイヌ×アイヌ配偶者を持つアイヌ」
- ・「片方の親のみアイヌ×和人配偶者を持つアイヌ」
- ・「片方の親のみアイヌ×未婚アイヌ」
- ・「和人配偶者」

のような7つのカテゴリを持つ変数を用いる。表4-13に多項ロジスティック回帰分析の結果を示した。

そこからは、第1に、世代に関しては、若い世代ほど「脱アイヌ」意識を持つことがわかる。たとえば、「脱アイヌ」と「中立的」の対比（「脱アイヌ vs 中立的」）を見ると、「青年層」でExp

(B) が1.613で有意となっており、その意味で「青年層」は「壮年層」と比べて、1.613倍ほど「中立的」よりも「脱アイヌ」になりやすい。このような傾向は、「脱アイヌ」と「否定的」の対比（「脱アイヌ vs 否定的」）と「脱アイヌ」と「肯定的」の対比（「脱アイヌ vs 肯定的」）でも同様に見られる。すなわち、「青年層」は、「中立的」「否定的」「肯定的」の3者それぞれと比べて、「脱アイヌ」意識を持ちやすいのである。

他方で、世代は、脱アイヌ以外の3つの意識（「中立的」「否定的」「肯定的」）の分化要因とはなっていない。なぜなら、それらから組み合わせることができるいずれの対比においても、世代は有意ではないからである。たとえば、「中立的」と「肯定的」の対比（「中立的 vs 肯定的」）を見ると、「青年層」の有意確率は0.888、「老年層」の有意確率は0.224であり、その意味で世代間には違いが見られない。そして、その点は、「中立的」と「否定的」の対比（「中立的 vs 否定的」）、「否定的」と「肯定的」の対比（「否定的 vs 肯定的」）でも確認できる。すなわち、世代は、「中立的」「否定的」「肯定的」の3つの意識の違いに影響を及ぼしてはいないのである。

次に、第2に、アイヌ文化の経験に関しては、はじめに、アイヌ文化の経験が少ないほど「脱アイヌ」意識を持ちやすいことがわかる。たとえば、「脱アイヌ」と「肯定的」の対比（「脱アイヌ vs 肯定的」）を見ると、「両方多い」者でExp (B) が0.086で有意となっており、アイヌ文化が「両方少ない」者と比べて「脱アイヌ」意識を持つ見込みが0.083倍であり、その意味で「脱アイヌ」意識を持ちにくい。逆にいえば、アイヌ文化の経験が少ない者ほど、「脱アイヌ」意識を持ちやすいのである。

さらに、アイヌ文化の経験からは、その経験が多いほど「肯定的」意識を持ちやすいという傾向も確認できる。たとえば、「中立的」と「肯定的」の対比（「中立的 vs 肯定的」）を見ると、アイヌ文化が「両方多い」でExp (B) が0.422で有意となっており、その意味で「両方少ない」と比べ「中立的」になりやすく、「肯定的」になりやすいのである。また、「否定的」と「肯定的」の対比（「否定的 vs 肯定的」）でも、「両方多い」でExp (B) が0.418で有意となっており、その意味でアイヌ文化の経験が多い者ほど「肯定的」な意識を持ちやすいのである。

さらに、第3に、純血性については、アイヌの血筋が「濃い」者ほど、「否定的」な意識を持っていることがわかる。そこで「脱アイヌ」と「否定的」の対比（「脱アイヌ vs 否定的」）を見ると、「両親ともアイヌ×アイヌ配偶者を持つアイヌ」でExp (B) が0.418で有意となっている。ここでの基準カテゴリは「片方の親のみアイヌ×アイヌ配偶者を持つアイヌ」なので、その者と比べて「両親ともアイヌ×アイヌ配偶者を持つアイヌ」は「脱アイヌ」ではなく「否定的」な意識を持ちやすい。すなわち、同じ「アイヌ配偶者を持つアイヌ」といっても、「片方の親のみ」がアイヌである者よりも、「両親ともアイヌ」である者は「否定的」な意識を持ちやすいのである。その意味で、アイヌの血筋が「濃い」者ほど「否定的」な意識を持っている。

しかし、ここからは「アイヌ配偶者を持つアイヌ」を対象とした場合の純血性の影響しかわからない。そこで、基準カテゴリを変えた分析を行った。その結果を「脱アイヌ」と「否定的」の対比（「脱アイヌ vs 否定的」）のみを抜き出して整理したのが表4-14である。

表4-13 多項ロジスティック回帰分析

	脱アイヌ vs 中立的				脱アイヌ vs 否定的				脱アイヌ vs 肯定的			
	B	Exp (B)	標準誤差	有意確率	B	Exp (B)	標準誤差	有意確率	B	Exp (B)	標準誤差	有意確率
切片	- 0.421	0.000	0.372	0.258	- 0.698	0.000	0.403	0.083	0.571	0.000	0.396	0.150
性別 (基準: 女性)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
男性ダミー	0.201	1.223	0.145	0.167	0.588	1.800	0.156	0.000	0.192	1.212	0.155	0.215
地域 (基準: その他)												
石狩ダミー	0.056	1.057	0.239	0.816	- 0.588	0.555	0.256	0.022	0.049	1.050	0.270	0.857
胆振ダミー	0.579	1.785	0.193	0.003	0.136	1.145	0.215	0.528	0.242	1.273	0.216	0.264
日高ダミー	0.840	2.316	0.204	0.000	0.753	2.123	0.234	0.001	0.293	1.340	0.223	0.189
釧路・根室ダミー	- 0.248	0.780	0.298	0.405	- 0.242	0.785	0.337	0.472	- 0.583	0.558	0.318	0.066
学歴 (基準: 高校)												
小中学校ダミー	- 0.372	0.689	0.161	0.021	- 0.194	0.824	0.174	0.264	- 0.076	0.927	0.173	0.661
専門高専短大	- 0.390	0.677	0.178	0.029	0.076	1.079	0.205	0.710	- 0.100	0.905	0.197	0.613
大学ダミー	- 0.102	0.903	0.309	0.741	- 0.504	0.604	0.298	0.091	- 0.887	0.412	0.269	0.001
個人年収	0.000	1.000	0.000	0.335	0.000	1.000	0.000	0.704	- 0.001	0.999	0.000	0.048
暮らしぶり (15歳時)	0.369	1.446	0.080	0.000	0.458	1.581	0.088	0.000	0.280	1.323	0.083	0.001
現在の暮らしぶり	0.254	1.289	0.091	0.005	0.283	1.327	0.098	0.004	0.096	1.101	0.095	0.310
就業状態 (基準: 正規雇用)												
経営者役員	0.674	1.962	0.356	0.058	0.507	1.661	0.375	0.176	0.070	1.072	0.324	0.830
非正規雇用	- 0.224	0.799	0.174	0.196	- 0.063	0.939	0.185	0.735	- 0.117	0.890	0.189	0.537
自営家族従業	0.528	1.695	0.195	0.007	0.559	1.749	0.212	0.008	0.197	1.217	0.195	0.314
無職学生その他	0.109	1.115	0.204	0.594	0.246	1.279	0.218	0.260	0.141	1.152	0.217	0.515
世代 (基準: 壮年層)												
青年層ダミー	0.478	1.613	0.174	0.006	0.502	1.651	0.183	0.006	0.450	1.569	0.187	0.016
老年層ダミー	- 0.391	0.676	0.193	0.043	- 0.108	0.898	0.213	0.612	- 0.158	0.854	0.206	0.442
文化 (基準: 両方少ない)												
伝承復興多い	- 0.648	0.523	0.229	0.005	- 0.278	0.757	0.255	0.276	- 0.711	0.491	0.263	0.007
宗教儀礼多い	- 1.150	0.317	0.176	0.000	- 0.755	0.470	0.199	0.000	- 1.133	0.322	0.202	0.000
両方多い	- 1.594	0.203	0.160	0.000	- 1.583	0.205	0.169	0.000	- 2.456	0.086	0.171	0.000
純血性×婚姻関係類型 (基準: 片方×アイヌ配偶者を持つアイヌ)												
両親×アイヌ配偶者を持つアイヌ	- 0.160	0.852	0.349	0.647	- 0.871	0.418	0.346	0.012	- 0.212	0.809	0.345	0.538
両親×和人配偶者を持つアイヌ	- 0.864	0.421	0.286	0.002	- 1.104	0.331	0.298	0.000	- 0.773	0.462	0.285	0.007
両親×未婚アイヌ	- 0.479	0.619	0.332	0.149	- 0.620	0.538	0.347	0.074	0.143	1.153	0.363	0.694
片方×和人配偶者を持つアイヌ	- 0.079	0.924	0.229	0.729	- 0.211	0.810	0.245	0.390	0.219	1.245	0.230	0.341
片方×未婚アイヌ	0.048	1.049	0.272	0.861	0.244	1.277	0.296	0.409	0.426	1.530	0.283	0.132
和人×配偶者	2.418	11.225	0.269	0.000	3.602	36.666	0.393	0.000	3.184	24.136	0.306	0.000
	中立的 vs 否定的				中立的 vs 肯定的				否定的 vs 肯定的			
	B	Exp (B)	標準誤差	有意確率	B	Exp (B)	標準誤差	有意確率	B	Exp (B)	標準誤差	有意確率
切片	- 0.276	0.000	0.409	0.499	0.992	0.000	0.404	0.014	1.269	0.000	0.426	0.003
性別 (基準: 女性)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
男性ダミー	0.387	1.472	0.157	0.014	- 0.009	0.991	0.157	0.954	- 0.396	0.673	0.163	0.015
地域 (基準: その他)												
石狩ダミー	- 0.644	0.525	0.243	0.008	- 0.007	0.993	0.261	0.979	0.637	1.891	0.269	0.018
胆振ダミー	- 0.444	0.642	0.210	0.035	- 0.338	0.713	0.211	0.110	0.106	1.112	0.227	0.641
日高ダミー	- 0.087	0.916	0.230	0.705	- 0.547	0.579	0.221	0.013	- 0.460	0.632	0.244	0.059
釧路・根室ダミー	0.006	1.006	0.302	0.984	- 0.335	0.716	0.283	0.237	- 0.341	0.711	0.312	0.274
学歴 (基準: 高校)												
小中学校ダミー	0.178	1.195	0.170	0.294	0.296	1.345	0.170	0.081	0.118	1.126	0.177	0.503
専門高専短大	0.466	1.593	0.212	0.028	0.290	1.337	0.205	0.157	- 0.176	0.839	0.224	0.433
大学ダミー	- 0.401	0.669	0.344	0.243	- 0.785	0.456	0.321	0.014	- 0.384	0.681	0.302	0.204
個人年収	0.000	1.000	0.001	0.635	0.000	1.000	0.000	0.342	- 0.001	0.999	0.000	0.172
暮らしぶり (15歳時)	0.089	1.093	0.095	0.346	- 0.089	0.915	0.090	0.325	- 0.178	0.837	0.095	0.062
現在の暮らしぶり	0.029	1.029	0.102	0.775	- 0.158	0.854	0.099	0.112	- 0.187	0.829	0.103	0.070
就業状態 (基準: 正規雇用)												
経営者役員	- 0.167	0.846	0.408	0.682	- 0.604	0.546	0.362	0.095	- 0.438	0.646	0.378	0.246
非正規雇用	0.162	1.175	0.188	0.391	0.108	1.114	0.192	0.575	- 0.054	0.947	0.198	0.784
自営家族従業	0.031	1.031	0.222	0.889	- 0.331	0.718	0.207	0.110	- 0.362	0.696	0.218	0.097
無職学生その他	0.138	1.147	0.223	0.538	0.033	1.033	0.223	0.883	- 0.105	0.900	0.230	0.649
世代 (基準: 壮年層)												
青年層ダミー	0.023	1.023	0.194	0.905	- 0.028	0.972	0.198	0.888	- 0.051	0.950	0.203	0.801
老年層ダミー	0.283	1.327	0.196	0.149	0.233	1.263	0.192	0.224	- 0.050	0.951	0.203	0.805
文化 (基準: 両方少ない)												
伝承復興多い	0.370	1.448	0.275	0.179	- 0.063	0.939	0.289	0.829	- 0.433	0.649	0.307	0.159
宗教儀礼多い	0.395	1.485	0.204	0.052	0.017	1.017	0.213	0.936	- 0.378	0.685	0.228	0.098
両方多い	0.011	1.011	0.168	0.949	- 0.862	0.422	0.175	0.000	- 0.873	0.418	0.179	0.000
純血性×婚姻関係類型 (基準: 片方×アイヌ配偶者を持つアイヌ)												
両親×アイヌ配偶者を持つアイヌ	- 0.712	0.491	0.306	0.020	- 0.053	0.949	0.302	0.861	0.659	1.933	0.300	0.028
両親×和人配偶者を持つアイヌ	- 0.240	0.786	0.269	0.372	0.092	1.096	0.254	0.718	0.332	1.393	0.267	0.214
両親×未婚アイヌ	- 0.141	0.869	0.349	0.687	0.622	1.862	0.363	0.087	0.762	2.143	0.377	0.043
片方×和人配偶者を持つアイヌ	- 0.132	0.877	0.243	0.589	0.298	1.347	0.228	0.191	0.430	1.537	0.245	0.079
片方×未婚アイヌ	0.197	1.217	0.310	0.526	0.378	1.459	0.297	0.203	0.181	1.199	0.318	0.569
和人×配偶者	1.184	3.266	0.418	0.005	0.766	2.150	0.336	0.023	- 0.418	0.658	0.441	0.343
N=2618 Cox & Snell=0.407 Nagelkerke=0.441 McFadden=0.4204												

表4-14 多項ロジスティック回帰分析（純血性×婚姻関係類型）（「脱アイヌ vs 否定的」）

	脱アイヌ vs 否定的					脱アイヌ vs 否定的			
	B	Exp (B)	標準誤差	有意確率		B	Exp (B)	標準誤差	有意確率
両親×アイヌ配偶者を持つアイヌ	(基準)				両親×アイヌ配偶者を持つアイヌ	-0.871	0.418	0.346	0.012
両親×和人配偶者を持つアイヌ	-0.233	0.792	0.343	0.498	両親×和人配偶者を持つアイヌ	-1.104	0.331	0.298	0.000
両親×未婚アイヌ	0.252	1.286	0.393	0.522	両親×未婚アイヌ	-0.620	0.538	0.347	0.074
片方×アイヌ配偶者を持つアイヌ	0.871	2.390	0.346	0.012	片方×アイヌ配偶者を持つアイヌ	(基準)			
片方×和人配偶者を持つアイヌ	0.661	1.936	0.300	0.027	片方×和人配偶者を持つアイヌ	-0.211	0.810	0.245	0.390
片方×未婚アイヌ	1.116	3.052	0.351	0.001	片方×未婚アイヌ	0.244	1.277	0.296	0.409
和人配偶者	4.473	87.633	0.425	0.000	和人配偶者	3.602	36.666	0.393	0.000

両親×アイヌ配偶者を持つアイヌ	0.233	1.262	0.343	0.498	両親×アイヌ配偶者を持つアイヌ	-0.661	0.516	0.300	0.027
両親×和人配偶者を持つアイヌ	(基準)				両親×和人配偶者を持つアイヌ	-0.894	0.409	0.229	0.000
両親×未婚アイヌ	0.485	1.623	0.337	0.151	両親×未婚アイヌ	-0.409	0.664	0.289	0.156
片方×アイヌ配偶者を持つアイヌ	1.104	3.017	0.298	0.000	片方×アイヌ配偶者を持つアイヌ	0.211	1.234	0.245	0.390
片方×和人配偶者を持つアイヌ	0.894	2.444	0.229	0.000	片方×和人配偶者を持つアイヌ	(基準)			
片方×未婚アイヌ	1.349	3.852	0.282	0.000	片方×未婚アイヌ	0.455	1.576	0.219	0.037
和人配偶者	4.706	110.624	0.385	0.000	和人配偶者	3.812	45.260	0.345	0.000

両親×アイヌ配偶者を持つアイヌ	-0.252	0.778	0.393	0.522	両親×アイヌ配偶者を持つアイヌ	-1.116	0.328	0.351	0.001
両親×和人配偶者を持つアイヌ	-0.485	0.616	0.337	0.151	両親×和人配偶者を持つアイヌ	-1.349	0.260	0.282	0.000
両親×未婚アイヌ	(基準)				両親×未婚アイヌ	-0.864	0.421	0.303	0.004
片方×アイヌ配偶者を持つアイヌ	0.620	1.858	0.347	0.074	片方×アイヌ配偶者を持つアイヌ	-0.244	0.783	0.296	0.409
片方×和人配偶者を持つアイヌ	0.409	1.506	0.289	0.156	片方×和人配偶者を持つアイヌ	-0.455	0.634	0.219	0.037
片方×未婚アイヌ	0.864	2.373	0.303	0.004	片方×未婚アイヌ	(基準)			
和人配偶者	4.222	68.142	0.429	0.000	和人配偶者	3.358	28.718	0.385	0.000

表4-15 多項ロジスティック回帰分析（各カテゴリ間の有意性検定）（「脱アイヌ vs 否定的」）

	基準（対数オッズ比 = 1）						
	両親×アイヌ配偶者を持つアイヌ	両親×和人配偶者を持つアイヌ	両親×未婚アイヌ	片方×アイヌ配偶者を持つアイヌ	片方×和人配偶者を持つアイヌ	片方×未婚アイヌ	和人配偶者
両親×アイヌ配偶者を持つアイヌ							
両親×和人配偶者を持つアイヌ	=						
両親×未婚アイヌ	=	=					
片方×アイヌ配偶者を持つアイヌ	0.871	1.104	0.620				
片方×和人配偶者を持つアイヌ	0.661	0.894	=	=			
片方×未婚アイヌ	1.116	1.349	0.864	=	0.455		
和人配偶者	4.473	4.706	4.222	3.602	3.812	3.358	

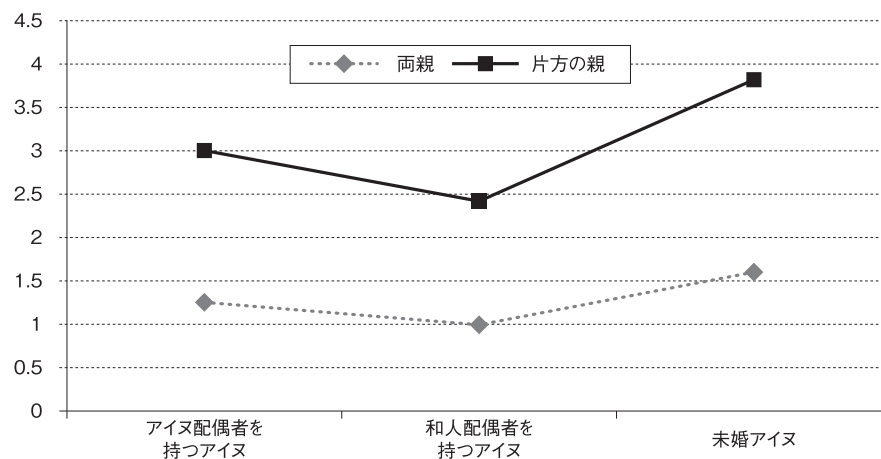


図4-13 「純血性×婚姻関係類型」のオッズ比（Exp（B））（「脱アイヌvs否定的」）（基準：「両親ともアイヌ×和人配偶者を持つアイヌ」）（除：「和人配偶者」）

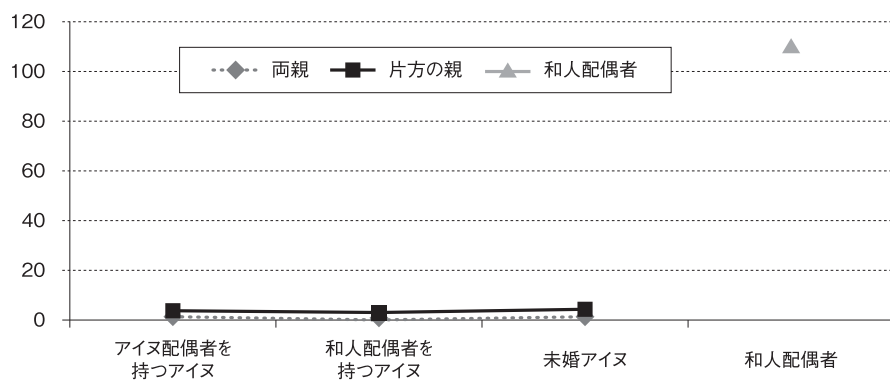


図 4-14 「純血性×婚姻関係類型」のオッズ比 (Exp (B)) (「脱アイヌvs否定的」)
(基準:「両親ともアイヌ×和人配偶者を持つアイヌ」)(除:「和人配偶者」)

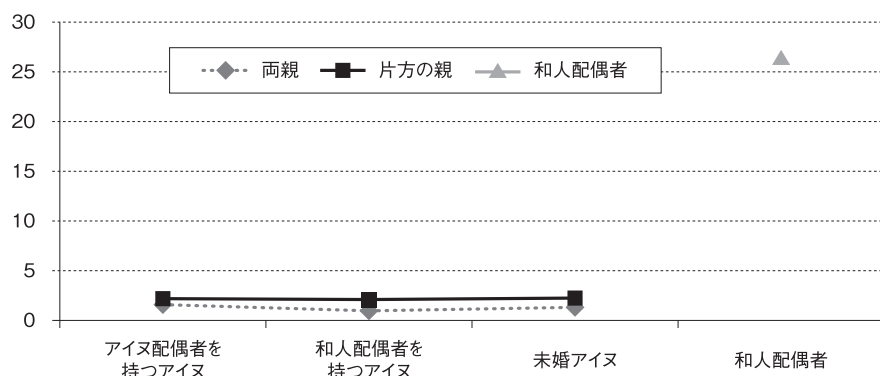


図 4-15 「純血性×婚姻関係類型」のオッズ比 (Exp (B)) (「脱アイヌvs中立的」)
(基準:「両親ともアイヌ×和人配偶者を持つアイヌ」)(「和人配偶者」除)

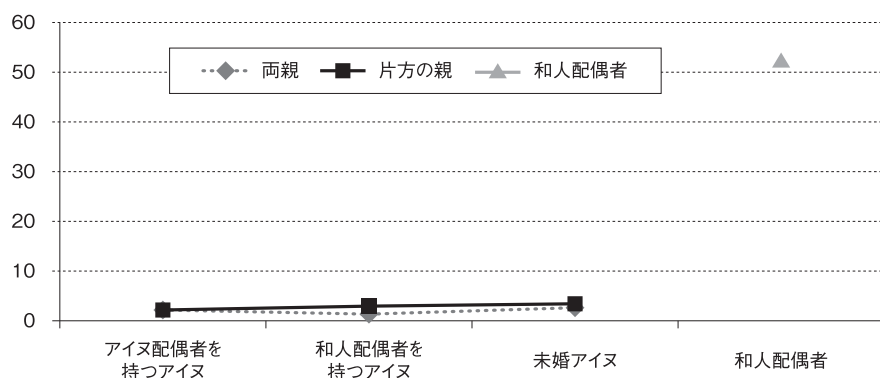


図 4-16 「純血性×婚姻関係類型」のオッズ比 (Exp (B)) (「脱アイヌvs肯定的」)
(基準:「両親ともアイヌ×和人配偶者を持つアイヌ」)

また、それをもとに、本報告書第3章で示した手順によって各カテゴリ間の有意性検定の結果を整理したのが表4-15である。さらに図4-13にはアイヌの血筋の者（「和人配偶者」以外）に限定してExp(B)を図示した（基準カテゴリ：「両親×和人配偶者を持つアイヌ」）

図4-13を見ると、婚姻関係類型のすべてのカテゴリで「片方の親のみアイヌ」（が含まれるカテゴリ）の方で値が高く、その意味で「脱アイヌ」意識を持つことがわかる。このことは逆にいえば、「両親ともアイヌ」（が含まれるカテゴリ）ほど「否定的」な意識を持ちやすいことを意味しよう。そして、それらは有意な違いが見られる。たとえば、表4-14から「両親ともアイヌ×未婚アイヌ」を基準とした場合を見ると、「片方の親のみアイヌ×未婚アイヌ」のExp(B)は2.373と有意となっている。このようにみれば、アイヌの血筋が「濃い」者ほど「否定的」な意識を持つといえる。

そのうえ、純血性からは、アイヌの血筋を持っていない者ほど「脱アイヌ」意識を持つこともわかる。図4-13ではアイヌの血筋の者に限定して図示したが、それに「和人配偶者」の場合も含めた図4-14を見よう。一見してわかるように、「和人配偶者」のExp(B)が飛びぬけて高くなっている。実際、表14から基準カテゴリが「両親ともアイヌ×和人配偶者を持つアイヌ」の場合を確認すると、Exp(B)は110.624にもなっている。

なお、こうした傾向は、「脱アイヌ」と「否定的」の対比（「脱アイヌ vs 否定的」）以外の「脱アイヌ」が含まれる対比でも確認することができる。図4-15と図4-16は、先ほどと同様の手順で作成した、「脱アイヌ vs 中立的」と「脱アイヌ vs 肯定的」の場合から得られるExp(B)を図示したものである。そこから、「和人配偶者」が飛びぬけて値が高く、その意味で「脱アイヌ」意識を持ちやすいと判断できよう。

最後に、第4に、婚姻関係類型の場合を検討しよう。婚姻関係類型に関しては、クロス表分析から、「未婚アイヌ」と「和人配偶者」において「脱アイヌ」意識が高いことが示唆されている。ただ、「和人配偶者」は先の純血性の分析で検討し、「和人配偶者」は「脱アイヌ」意識を持ちやすいことが多変量解析の結果からも確認できた。そこで、以下では「未婚アイヌ」について検討しよう。

そのために、「未婚アイヌ」を基準として得られた分析結果を整理したのが表4-16である。ただし、「脱アイヌ」意識に関心があるので、「脱アイヌ」を含む対比のみを抜き出した。

まず、「両親ともアイヌ×未婚アイヌ」を基準とした場合を確認していこう。そこからは、「脱アイヌ」と「中立的」の対比（「脱アイヌ vs 中立的」）、「脱アイヌ」と「否定的」の対比（「脱アイヌ vs 否定的」）においてはともに、「両親ともアイヌ×アイヌ配偶者を持つアイヌ」「両親ともアイヌ×和人配偶者を持つアイヌ」が有意ではない。その意味で、婚姻の有無によって、「脱アイヌ」意識かどうかは左右されない。

しかし、「脱アイヌ」と「肯定的」の対比（「脱アイヌ vs 肯定的」）に関しては、「両親ともアイヌ×和人配偶者を持つアイヌ」においてExp(B)が0.400で有意になっている。ここからは、「両親ともアイヌ×未婚アイヌ」と比べて、「両親ともアイヌ×和人配偶者を持つアイヌ」は、「脱アイヌ」意識を持ちにくいことがわかる。このことは逆にいえば、「両親ともアイヌ×未婚アイヌ」は「脱アイヌ」意識を持ちやすいことを示していよう。

次に、「片方×未婚アイヌ」を基準とした場合を検討しよう。そこからは、「脱アイヌ」と「中立的」の対比（「脱アイヌ vs 中立的」）、「脱アイヌ」と「肯定的」の対比（「脱アイヌ vs 肯定的」）では、「片方×アイヌ配偶者を持つアイヌ」「片方×和人配偶者を持つアイヌ」が有意ではない。それゆえ、

ここからも、婚姻の有無によって、「脱アイヌ」意識かどうかは影響をうけないことがわかる。

だが、「脱アイヌ」と「否定的」の対比（「脱アイヌ vs 否定的」）では、「片方×和人配偶者を持つアイヌ」の Exp (B) が 0.634 で有意となっている。

このようにみれば、いくつか限定された条件のもとでは、「未婚アイヌ」は「和人配偶者を持つアイヌ」よりも「脱アイヌ」意識を持つと整理できよう。

とはいえ、ここでより強調すべきは、「未婚アイヌ」と既婚アイヌ（「アイヌ配偶者を持つアイヌ」と「和人配偶者を持つアイヌ」）とを比較した際に、多くの場合、「未婚アイヌ」は「脱アイヌ」意識を持つわけではないという点である。

この点をふまえれば、クロス表で確認できた「未婚アイヌ」が、「アイヌ配偶者を持つアイヌ」と「和人配偶者を持つアイヌ」と比べれば「脱アイヌ」意識を持つという傾向は、多変量解析から見れば、それほど強くはいえない。その意味で、クロス表で確認した傾向は、その他の変数の影響によってももたらされた側面があるだろう。

それゆえ、「未婚アイヌ」において「脱アイヌ」意識が高く見られたのは、本節第2項でふれたように世代の影響によるものと思われる。上で確認したように、多変量解析の結果からも、世代が若いほど「脱アイヌ」意識を持ちやすかった。そして、「未婚アイヌ」の多くは世代が若い。それゆえ、こうした世代の若さの影響力が、その他の変数の影響力を考慮していないクロス表分析では現れていたのだと考えられる⁴⁾。

表4-16 多項ロジスティック回帰分析（「純血性×婚姻関係類型」）（「脱アイヌ」に関する対比）

基準：両親×未婚アイヌ	脱アイヌ vs 中立的		標準誤差	有意確率
	B	Exp (B)		
両親×アイヌ配偶者を持つアイヌ	0.319	1.376	0.398	0.422
両親×和人配偶者を持つアイヌ	- 0.385	0.680	0.332	0.246
両親×未婚アイヌ	(基準)			
片方×アイヌ配偶者を持つアイヌ	0.479	1.615	0.332	0.149
片方×和人配偶者を持つアイヌ	0.400	1.492	0.281	0.155
片方×未婚アイヌ	0.527	1.694	0.290	0.069
和人配偶者	2.897	18.124	0.324	0.000

基準：片方×未婚アイヌ	脱アイヌ vs 中立的		標準誤差	有意確率
	B	Exp (B)		
両親×アイヌ配偶者を持つアイヌ	- 0.207	0.813	0.352	0.556
両親×和人配偶者を持つアイヌ	- 0.912	0.402	0.271	0.001
両親×未婚アイヌ	- 0.527	0.590	0.290	0.069
片方×アイヌ配偶者を持つアイヌ	- 0.048	0.953	0.272	0.861
片方×和人配偶者を持つアイヌ	- 0.127	0.881	0.204	0.534
片方×未婚アイヌ	(基準)			
和人配偶者	2.370	10.702	0.260	0.000

	脱アイヌ vs 否定的		標準誤差	有意確率
	B	Exp (B)		
両親×アイヌ配偶者を持つアイヌ	- 0.252	0.778	0.393	0.522
両親×和人配偶者を持つアイヌ	- 0.485	0.616	0.337	0.151
両親×未婚アイヌ	(基準)			
片方×アイヌ配偶者を持つアイヌ	0.620	1.858	0.347	0.074
片方×和人配偶者を持つアイヌ	0.409	1.506	0.289	0.156
片方×未婚アイヌ	0.864	2.373	0.303	0.004
和人配偶者	4.222	68.142	0.429	0.000

	脱アイヌ vs 肯定的		標準誤差	有意確率
	B	Exp (B)		
両親×アイヌ配偶者を持つアイヌ	- 0.355	0.701	0.423	0.401
両親×和人配偶者を持つアイヌ	- 0.915	0.400	0.364	0.012
両親×未婚アイヌ	(基準)			
片方×アイヌ配偶者を持つアイヌ	- 0.143	0.867	0.363	0.694
片方×和人配偶者を持つアイヌ	0.076	1.079	0.320	0.812
片方×未婚アイヌ	0.283	1.327	0.332	0.394
和人配偶者	3.041	20.927	0.386	0.000

	脱アイヌ vs 肯定的		標準誤差	有意確率
	B	Exp (B)		
両親×アイヌ配偶者を持つアイヌ	- 0.638	0.528	0.359	0.075
両親×和人配偶者を持つアイヌ	- 1.198	0.302	0.283	0.000
両親×未婚アイヌ	- 0.283	0.754	0.332	0.394
片方×アイヌ配偶者を持つアイヌ	- 0.426	0.653	0.283	0.132
片方×和人配偶者を持つアイヌ	- 0.207	0.813	0.221	0.350
片方×未婚アイヌ	(基準)			
和人配偶者	2.758	15.771	0.309	0.000

第4項 ジェンダー差を考慮した婚姻関係類型の分析

さらに、婚姻関係類型に関しては、ジェンダーの違いを考慮すべきだった。実際、第2項で見たように、同じ「和人配偶者を持つアイヌ」といっても、「和人妻を持つアイヌ夫」と比べて、「和人夫を持つアイヌ妻」は、「否定的」なアイデンティティをもちやすかった。そこで、この点を多変量解析で検討しよう。その際、本報告第3章で作成した「性別×婚姻関係類型」を用いよう。そのため、以下の分析では純血性を除いた。それを用いて多項ロジスティック回帰分析を行った結果を表4-17に整理した。なお、「和人配偶者を持つアイヌ」の男女差に注目しているのので、基準カテゴリを「男性×和人配偶者を持つアイヌ」とした。

まずは、「脱アイヌ」と「否定的」の対比（「脱アイヌ vs 否定的」）を見よう。そこで、「女性×和人配偶者を持つアイヌ」を見ると、Exp (B) が0.395で有意となっている。ここからは、「女性×和人配偶者を持つアイヌ」は、「男性×和人配偶者を持つアイヌ」と比べて、「否定的」な意識を持ちやすいことがわかる。

さらに、「中立的」と「否定的」の対比（「中立的 vs 否定的」）を見ても、「女性×和人配偶者を持つアイヌ」のExp (B) は0.513で有意となっており、「女性×和人配偶者を持つアイヌ」ほど「否定的」な意識を持ちやすい。

そのうえ、「否定的」と「肯定的」の対比（「否定的 vs 肯定的」）においては、「女性×和人配偶者を持つアイヌ」のExp (B) は1.344で有意となっており、ここからも「女性×和人配偶者を持つアイヌ」ほど「否定的」な意識を持ちやすいことがわかる。

このようにみれば、多変量解析から見ても、「女性×和人配偶者を持つアイヌ」すなわち「和人夫を持つアイヌ妻」ほど「否定的」なアイヌ・アイデンティティを持ちやすいことがわかる。そして、このことは、同じ「和人配偶者を持つアイヌ」といっても、「和人妻を持つアイヌ夫」は「否定的」なアイヌ・アイデンティティを持ちにくいことを示している。

では、こうした「和人妻を持つアイヌ夫」のアイデンティティは、「アイヌ配偶者を持つアイヌ」とは異なるのだろうか。この点を検討するため、再度、表4-17に戻ろう。ここからは、「和人妻を持つアイヌ夫」は、「アイヌ配偶者を持つアイヌ」と比べた場合でも、「否定的」なアイデンティティを持ちにくいことがわかる。

たとえば、「脱アイヌ」と「否定的」の対比（「脱アイヌ vs 否定的」）を見ると、「男性×アイヌ配偶者を持つアイヌ」とは有意な違いが見られないものの、「女性×アイヌ配偶者を持つアイヌ」とは有意な違いが見られる。具体的には、「女性×アイヌ配偶者を持つアイヌ」のExp (B) は0.618となっており、その意味で「女性×アイヌ配偶者を持つアイヌ」ほど「否定的」な意識を持ちやすく、「脱アイヌ」意識を持ちにくい。

さらに、「中立的」と「否定的」の対比（「中立的 vs 否定的」）では、「男性×アイヌ配偶者を持つアイヌ」と「女性×アイヌ配偶者を持つアイヌ」ともに有意な違いが見られる。具体的なExp (B) の値は、「男性×アイヌ配偶者を持つアイヌ」で0.616、「女性×アイヌ配偶者を持つアイヌ」で0.556であり、ここからは、「男性×アイヌ配偶者を持つアイヌ」「女性×アイヌ配偶者を持つアイヌ」ともに、「男性×和人配偶者を持つアイヌ」と比べて、「中立的」ではなく「否定的」な意識を持ちやすいといえよう。

それでは、他方で、「女性×和人配偶者を持つアイヌ」すなわち、「和人夫を持つアイヌ妻」は、

表4-17 多項ロジスティック回帰分析（「性別×婚姻関係類型」）（基準：「男性×和人配偶者を持つアイヌ」）

	脱アイヌ vs 中立的				脱アイヌ vs 否定的				脱アイヌ vs 肯定的			
	B	Exp (B)	標準誤差	有意確率	B	Exp (B)	標準誤差	有意確率	B	Exp (B)	標準誤差	有意確率
切片	-0.453	0.000	0.338	0.181	-0.330	0.000	0.369	0.371	0.775	0.000	0.361	0.032
地域（基準：その他）												
石狩ダミー	0.082	1.086	0.238	0.729	-0.542	0.582	0.255	0.033	0.061	1.063	0.270	0.821
胆振ダミー	0.602	1.825	0.192	0.002	0.175	1.191	0.214	0.414	0.253	1.287	0.215	0.240
日高ダミー	0.845	2.329	0.203	0.000	0.774	2.168	0.233	0.001	0.300	1.350	0.222	0.177
釧路・根室ダミー	-0.212	0.809	0.297	0.476	-0.251	0.778	0.335	0.453	-0.555	0.574	0.316	0.079
学歴（基準：高校）												
小中学校ダミー	-0.392	0.676	0.161	0.015	-0.251	0.778	0.172	0.146	-0.104	0.901	0.172	0.545
専門高専短大	-0.370	0.691	0.178	0.037	0.093	1.097	0.204	0.649	-0.084	0.919	0.196	0.668
大学ダミー	-0.048	0.953	0.309	0.877	-0.429	0.651	0.296	0.148	-0.827	0.437	0.269	0.002
個人年収	0.000	1.000	0.000	0.298	0.000	1.000	0.001	0.382	-0.001	0.999	0.000	0.045
暮らしぶり（15歳時）	0.375	1.456	0.080	0.000	0.479	1.615	0.088	0.000	0.285	1.330	0.083	0.001
現在の暮らしぶり	0.247	1.280	0.090	0.006	0.282	1.325	0.097	0.004	0.088	1.092	0.094	0.349
就業状態（基準：正規雇用）												
経営者役員	0.695	2.004	0.356	0.051	0.523	1.687	0.374	0.162	0.087	1.091	0.324	0.789
非正規雇用	-0.243	0.784	0.173	0.160	-0.087	0.917	0.184	0.638	-0.124	0.883	0.188	0.511
自営家族従業	0.537	1.711	0.194	0.006	0.560	1.751	0.211	0.008	0.211	1.235	0.194	0.277
無職学生その他	0.108	1.114	0.204	0.597	0.228	1.256	0.218	0.295	0.158	1.171	0.217	0.468
世代（基準：壮年層）												
青年層ダミー	0.521	1.683	0.173	0.003	0.579	1.785	0.182	0.001	0.482	1.620	0.184	0.009
老年層ダミー	-0.390	0.677	0.193	0.043	-0.120	0.887	0.212	0.569	-0.170	0.844	0.205	0.406
文化（基準：両方少ない）												
伝承復興多い	-0.619	0.538	0.228	0.007	-0.234	0.792	0.255	0.359	-0.680	0.507	0.263	0.010
宗教儀礼多い	-1.147	0.318	0.175	0.000	-0.738	0.478	0.198	0.000	-1.142	0.319	0.201	0.000
両方多い	-1.614	0.199	0.160	0.000	-1.628	0.196	0.168	0.000	-2.486	0.083	0.170	0.000
性別×婚姻関係類型（基準：男性×和人配偶者を持つアイヌ）												
男性×アイヌ配偶者を持つアイヌ	0.089	1.093	0.271	0.742	-0.395	0.674	0.279	0.157	-0.108	0.898	0.269	0.689
女性×アイヌ配偶者を持つアイヌ	0.105	1.111	0.270	0.697	-0.482	0.618	0.277	0.082	-0.186	0.830	0.272	0.494
女性×和人配偶者を持つアイヌ	-0.261	0.770	0.213	0.221	-0.929	0.395	0.222	0.000	-0.244	0.783	0.222	0.271
男性×未婚アイヌ	0.124	1.132	0.230	0.589	0.065	1.067	0.253	0.798	0.299	1.349	0.246	0.224
女性×未婚アイヌ	-0.081	0.922	0.253	0.748	-0.295	0.745	0.270	0.276	0.181	1.198	0.276	0.513
男性×和人配偶者	2.740	15.491	0.315	0.000	3.668	39.191	0.532	0.000	3.344	28.335	0.396	0.000
女性×和人配偶者	2.397	10.986	0.272	0.000	3.356	28.680	0.455	0.000	2.895	18.084	0.331	0.000
	中立的 vs 否定的				中立的 vs 肯定的				否定的 vs 肯定的			
	B	Exp (B)	標準誤差	有意確率	B	Exp (B)	標準誤差	有意確率	B	Exp (B)	標準誤差	有意確率
切片	0.122	0.000	0.374	0.743	1.228	0.000	0.368	0.001	1.105	0.000	0.389	0.005
地域（基準：その他）												
石狩ダミー	-0.624	0.536	0.243	0.010	-0.021	0.979	0.260	0.935	0.603	1.828	0.269	0.025
胆振ダミー	-0.427	0.653	0.210	0.042	-0.349	0.705	0.211	0.098	0.078	1.081	0.227	0.732
日高ダミー	-0.071	0.931	0.230	0.756	-0.545	0.580	0.221	0.013	-0.474	0.623	0.243	0.051
釧路・根室ダミー	-0.040	0.961	0.301	0.895	-0.343	0.710	0.282	0.224	-0.303	0.738	0.311	0.329
学歴（基準：高校）												
小中学校ダミー	0.141	1.151	0.169	0.405	0.288	1.333	0.170	0.090	0.147	1.158	0.176	0.405
専門高専短大	0.463	1.589	0.212	0.029	0.286	1.331	0.205	0.163	-0.177	0.838	0.224	0.430
大学ダミー	-0.381	0.683	0.342	0.266	-0.780	0.459	0.320	0.015	-0.399	0.671	0.301	0.185
個人年収	0.000	1.000	0.001	0.944	0.000	1.000	0.000	0.368	0.000	1.000	0.001	0.363
暮らしぶり（15歳時）	0.104	1.109	0.095	0.274	-0.091	0.913	0.090	0.316	-0.194	0.823	0.095	0.042
現在の暮らしぶり	0.035	1.036	0.101	0.731	-0.158	0.854	0.099	0.111	-0.193	0.824	0.103	0.061
就業状態（基準：正規雇用）												
経営者役員	-0.172	0.842	0.408	0.673	-0.608	0.544	0.362	0.093	-0.436	0.647	0.378	0.248
非正規雇用	0.156	1.169	0.188	0.405	0.119	1.126	0.191	0.533	-0.037	0.963	0.197	0.850
自営家族従業	0.023	1.024	0.223	0.917	-0.326	0.722	0.207	0.115	-0.349	0.705	0.218	0.109
無職学生その他	0.120	1.127	0.223	0.590	0.050	1.051	0.223	0.823	-0.070	0.932	0.230	0.760
世代（基準：壮年層）												
青年層ダミー	0.059	1.061	0.193	0.761	-0.038	0.963	0.196	0.845	-0.097	0.908	0.201	0.630
老年層ダミー	0.270	1.310	0.196	0.168	0.220	1.246	0.192	0.252	-0.050	0.951	0.203	0.806
文化（基準：両方少ない）												
伝承復興多い	0.385	1.470	0.275	0.162	-0.061	0.941	0.289	0.833	-0.446	0.640	0.307	0.146
宗教儀礼多い	0.409	1.505	0.203	0.044	0.005	1.005	0.212	0.983	-0.404	0.667	0.228	0.076
両方多い	-0.014	0.986	0.167	0.934	-0.872	0.418	0.175	0.000	-0.858	0.424	0.179	0.000
性別×婚姻関係類型（基準：男性×和人配偶者を持つアイヌ）												
男性×アイヌ配偶者を持つアイヌ	-0.484	0.616	0.262	0.065	-0.197	0.821	0.251	0.433	0.287	1.332	0.258	0.267
女性×アイヌ配偶者を持つアイヌ	-0.587	0.556	0.265	0.027	-0.291	0.747	0.260	0.262	0.296	1.344	0.265	0.265
女性×和人配偶者を持つアイヌ	-0.668	0.513	0.212	0.002	0.017	1.017	0.213	0.938	0.685	1.983	0.219	0.002
男性×未婚アイヌ	-0.059	0.943	0.270	0.827	0.175	1.192	0.263	0.506	0.234	1.264	0.282	0.406
女性×未婚アイヌ	-0.213	0.808	0.286	0.456	0.262	1.300	0.292	0.369	0.476	1.609	0.305	0.119
男性×和人配偶者	0.928	2.530	0.585	0.113	0.604	1.829	0.466	0.195	-0.324	0.723	0.631	0.607
女性×和人配偶者	0.960	2.611	0.489	0.050	0.498	1.646	0.375	0.184	-0.461	0.631	0.522	0.377
N=2618 Cox & Snell=0.401 Nagelkerke=0.434 McFadden=0.199												

表4-18 多項ロジスティック回帰分析（「性別×婚姻関係類型」）（基準：「女性×和人配偶者を持つアイヌ」）

	脱アイヌ vs 中立的				脱アイヌ vs 否定的				脱アイヌ vs 肯定的			
	B	Exp (B)	標準誤差	有意確率	B	Exp (B)	標準誤差	有意確率	B	Exp (B)	標準誤差	有意確率
男性×アイヌ配偶者を持つアイヌ	0.350	1.419	0.295	0.235	0.534	1.706	0.297	0.072	0.137	1.146	0.297	0.646
女性×アイヌ配偶者を持つアイヌ	0.366	1.442	0.268	0.171	0.448	1.565	0.262	0.088	0.058	1.060	0.270	0.829
男性×和人配偶者を持つアイヌ	0.261	1.298	0.213	0.221	0.929	2.532	0.222	0.000	0.244	1.277	0.222	0.271
女性×和人配偶者を持つアイヌ	(基準)				(基準)				(基準)			
男性×未婚アイヌ	0.385	1.469	0.238	0.107	0.994	2.702	0.248	0.000	0.543	1.722	0.258	0.035
女性×未婚アイヌ	0.180	1.197	0.249	0.470	0.635	1.886	0.254	0.012	0.425	1.530	0.275	0.122
男性×和人配偶者	3.001	20.111	0.339	0.000	4.598	99.250	0.543	0.000	3.588	36.179	0.420	0.000
女性×和人配偶者	2.658	14.262	0.264	0.000	4.285	72.632	0.442	0.000	3.139	23.090	0.324	0.000

	中立的 vs 否定的				中立的 vs 肯定的				否定的 vs 肯定的			
	B	Exp (B)	標準誤差	有意確率	B	Exp (B)	標準誤差	有意確率	B	Exp (B)	標準誤差	有意確率
男性×アイヌ配偶者を持つアイヌ	0.184	1.202	0.274	0.501	-0.214	0.808	0.275	0.438	-0.398	0.672	0.275	0.147
女性×アイヌ配偶者を持つアイヌ	0.082	1.085	0.246	0.740	-0.308	0.735	0.254	0.226	-0.389	0.678	0.248	0.116
男性×和人配偶者を持つアイヌ	0.668	1.951	0.212	0.002	-0.017	0.984	0.213	0.938	-0.685	0.504	0.219	0.002
女性×和人配偶者を持つアイヌ	(基準)				(基準)				(基準)			
男性×未婚アイヌ	0.609	1.839	0.263	0.021	0.159	1.172	0.271	0.558	-0.450	0.637	0.279	0.107
女性×未婚アイヌ	0.455	1.576	0.268	0.090	0.246	1.278	0.286	0.391	-0.209	0.811	0.291	0.471
男性×和人配偶者	1.596	4.935	0.593	0.007	0.587	1.799	0.482	0.223	-1.009	0.365	0.640	0.115
女性×和人配偶者	1.628	5.093	0.474	0.001	0.482	1.619	0.366	0.188	-1.146	0.318	0.508	0.024

表4-19 多項ロジスティック回帰分析（「性別×婚姻関係類型」）（基準：「男性×アイヌ配偶者を持つアイヌ」）

	脱アイヌ vs 中立的				脱アイヌ vs 否定的				脱アイヌ vs 肯定的			
	B	Exp (B)	標準誤差	有意確率	B	Exp (B)	標準誤差	有意確率	B	Exp (B)	標準誤差	有意確率
男性×アイヌ配偶者を持つアイヌ	(基準)				(基準)				(基準)			
女性×アイヌ配偶者を持つアイヌ	0.016	1.016	0.332	0.962	-0.087	0.917	0.332	0.794	-0.078	0.925	0.329	0.812
男性×和人配偶者を持つアイヌ	-0.089	0.915	0.271	0.742	0.395	1.484	0.279	0.157	0.108	1.114	0.269	0.689
女性×和人配偶者を持つアイヌ	-0.350	0.705	0.295	0.235	-0.534	0.586	0.297	0.072	-0.137	0.872	0.297	0.646
男性×未婚アイヌ	0.035	1.035	0.314	0.912	0.460	1.583	0.328	0.162	0.407	1.502	0.323	0.208
女性×未婚アイヌ	-0.170	0.843	0.330	0.605	0.100	1.105	0.340	0.769	0.289	1.335	0.346	0.404
男性×和人配偶者	2.651	14.168	0.376	0.000	4.063	58.161	0.569	0.000	3.452	31.559	0.445	0.000
女性×和人配偶者	2.307	10.048	0.338	0.000	3.751	42.562	0.494	0.000	3.003	20.142	0.384	0.000

	中立的 vs 否定的				中立的 vs 肯定的				否定的 vs 肯定的			
	B	Exp (B)	標準誤差	有意確率	B	Exp (B)	標準誤差	有意確率	B	Exp (B)	標準誤差	有意確率
男性×アイヌ配偶者を持つアイヌ	(基準)				(基準)				(基準)			
女性×アイヌ配偶者を持つアイヌ	-0.103	0.902	0.307	0.739	-0.094	0.910	0.304	0.757	0.009	1.009	0.303	0.977
男性×和人配偶者を持つアイヌ	0.484	1.623	0.262	0.065	0.197	1.218	0.251	0.433	-0.287	0.751	0.258	0.267
女性×和人配偶者を持つアイヌ	-0.184	0.832	0.274	0.501	0.214	1.238	0.275	0.438	0.398	1.489	0.275	0.147
男性×未婚アイヌ	0.425	1.529	0.330	0.198	0.372	1.451	0.324	0.251	-0.053	0.949	0.337	0.876
女性×未婚アイヌ	0.271	1.311	0.342	0.428	0.459	1.583	0.346	0.185	0.189	1.208	0.355	0.595
男性×和人配偶者	1.412	4.105	0.613	0.021	0.801	2.227	0.500	0.109	-0.611	0.543	0.655	0.351
女性×和人配偶者	1.444	4.236	0.518	0.005	0.695	2.005	0.413	0.093	-0.748	0.473	0.547	0.171

「アイヌ配偶者を持つアイヌ」とアイヌ・アイデンティティのあり方は異なるのだろうか。この点を検討するために、基準カテゴリを「女性×和人配偶者を持つアイヌ」とした場合の結果を表4-18に示した（ただしその他の変数は省略してある）。

それによれば、「中立的」と「否定的」の対比（「中立的 vs 否定的」）と、「否定的」と「肯定的」の対比（「否定的 vs 肯定的」）においては、「男性×アイヌ配偶者を持つアイヌ」「女性×アイヌ配偶者を持つアイヌ」とともに有意な違いが見られない。その意味で、「和人妻を持つアイヌ夫」は、「アイヌ配偶者を持つアイヌ」との間には、アイヌ・アイデンティティには違いが見られない。

しかし、「脱アイヌ」と「否定的」の対比（「脱アイヌ vs 否定的」）においては、有意水準が

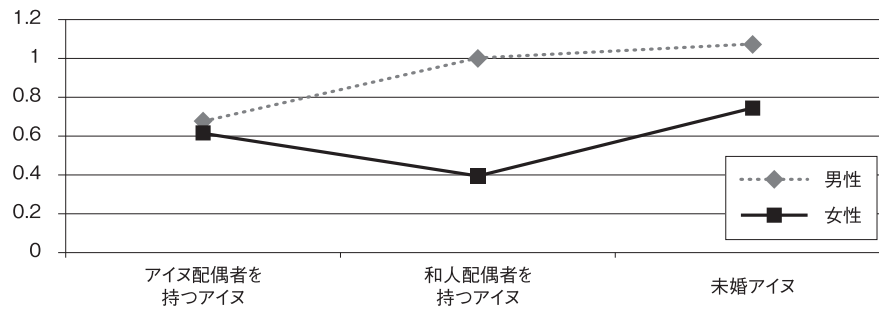


図4-17 「性別×婚姻関係類型」のオッズ比 (Exp (B)) (「脱アイヌvs否定的」)
(基準: 「男性×和人配偶者を持つアイヌ」)

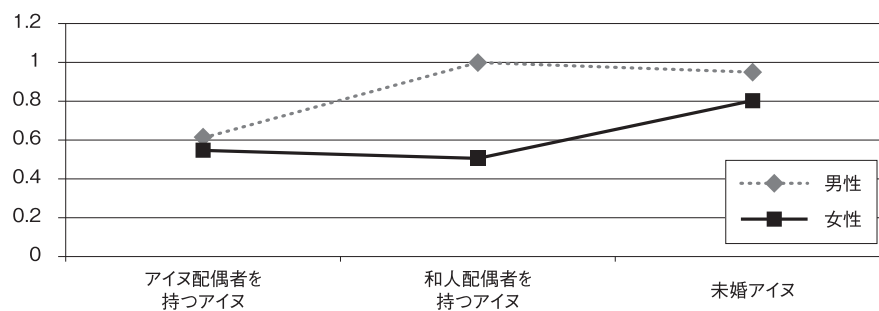


図4-18 「性別×婚姻関係類型」のオッズ比 (Exp (B)) (「中立的vs否定的」)
(基準: 「男性×和人配偶者を持つアイヌ」)

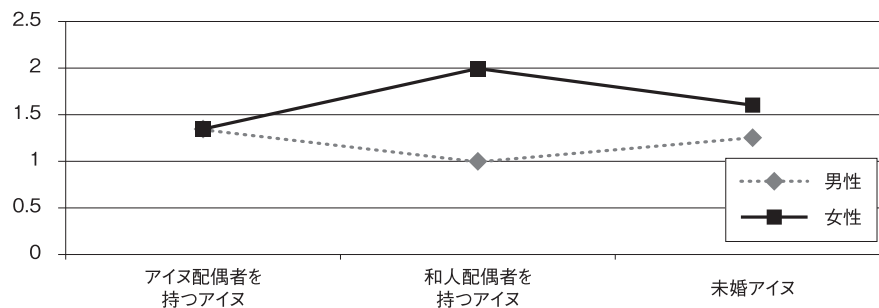


図4-19 「性別×婚姻関係類型」のオッズ比 (Exp (B)) (「否定的vs肯定的」)
(基準: 「男性×和人配偶者を持つアイヌ」)

10%ではあるものの、「男性×アイヌ配偶者を持つアイヌ」「女性×アイヌ配偶者を持つアイヌ」それぞれに有意な違いが見られる。具体的に値を確認すると、「男性×アイヌ配偶者を持つアイヌ」の Exp (B) が 1.706、「女性×アイヌ配偶者を持つアイヌ」の Exp (B) が 1.565 となっており、その意味で、「男性×アイヌ配偶者を持つアイヌ」と「女性×アイヌ配偶者を持つアイヌ」は、「女性×和人配偶者を持つアイヌ」よりも「脱アイヌ」意識を持ちやすい。逆にいえば、「和人夫を持つアイヌ妻」は、「アイヌ配偶者を持つアイヌ」よりもアイヌ・アイデンティティは「否定的」に

なりやすいのである。

なお、表4-19には「男性×アイヌ配偶者を持つアイヌ」を基準カテゴリとした場合の結果も示してある。そこからは、いずれの対比においても、「女性×アイヌ配偶者を持つアイヌ」は有意ではなく、その意味で、「アイヌ配偶者を持つアイヌ」においては、アイヌ・アイデンティティには男女差が見られないことがわかる。

以上の知見を視覚的に捉えるために図4-7～9をみよう。そこには「男性×和人配偶者を持つアイヌ」を基準とした場合のExp(B)を示した。なお、「否定的」が含まれる対比のみを示してある。また、違いを明瞭にするために「和人配偶者」を含むカテゴリを除いた。

ここからは、先に確認してきた知見、すなわち「男性×和人配偶者を持つアイヌ」(「和人妻を持つアイヌ夫」)で「否定的」な意識を持ちにくいこと、逆に「女性×和人配偶者を持つアイヌ」では「否定的」な意識を持ちやすいこと、「アイヌ配偶者を持つアイヌ」には男女差が見られないこと、などを視覚的に確認することができよう。

こうしてみると、既婚アイヌといっても、アイヌ・アイデンティティのあり方には異なりが見られることがわかる⁵⁾。すなわち、「和人妻を持つアイヌ夫」は、同じ「和人配偶者を持つアイヌ」である「和人夫を持つアイヌ妻」よりも「否定的」な意識を持ちづらいだけでなく、「アイヌ配偶者を持つアイヌ」よりも「否定的」な意識を持ちづらい。他方で、「和人夫を持つアイヌ妻」は、「アイヌ配偶者を持つアイヌ」と比べても、「否定的」なアイヌ・アイデンティティを持ちやすいのである⁶⁾。

第4節 結論

以上、アイヌ・アイデンティティのパターンとその分化要因について検討を加えてきた。

そこからは、まず、アイヌ・アイデンティティのパターンについては、大規模アンケート調査から見ても「脱アイヌ」的な意識を持つ者が多いことが明らかになった。またその一方で、「中立的」「肯定的」「否定的」がそれなりの程度存在していることも明らかになった。

次に、こうしたアイヌ・アイデンティティのパターンの分化要因については、第1に、世代は「脱アイヌ」とそれ以外のパターン(「中立的」「否定的」「肯定的」)の相違をもたらしていた。具体的には、世代が若いほど「脱アイヌ」意識を持つ。しかし、その他の変数の影響を考慮すると、「脱アイヌ」以外の3者(「中立的」「否定的」「肯定的」)の相違をもたらす影響を持っているとはいいがたかった。

また、第2に、アイヌ文化の経験においても、「脱アイヌ」とそれ以外のパターン(「中立的」「否定的」「肯定的」の3者)の相違をもたらしていた。すなわち、アイヌ文化の経験が少ない者ほど、「脱アイヌ」意識を持ちやすいという関連が見られる。

さらに、アイヌ文化の経験は、「中立的」と「肯定的」の相違、「否定的」と「肯定的」の相違をもたらしていた。具体的には、そこでは、アイヌ文化の経験が多いほど、「肯定的」なアイヌ・アイデンティティを持つという関連が見られる。

その上、第3に、純血性と婚姻関係類型からは、アイヌの血筋を持たない「和人配偶者」ほど「脱アイヌ」意識を持ちやすいことが明らかになった。そのうえ、アイヌの血筋が「濃い」者ほど、「中立的」や「肯定的」な意識よりも「否定的」な意識を持っていた。すなわち、アイヌの血筋が「濃い」ほど、「否定的」なアイヌ・アイデンティティを持つという関連が見られる。

他方で、婚姻の有無は、部分的にアイヌ・アイデンティティに影響を与えていた。すなわち、婚姻をしていない者、すなわち未婚の者ほど「脱アイヌ」意識を持ちやすかった。しかし、未婚の者が「脱アイヌ」意識を持ちやすいのは世代の影響が現れているからでもあり、その意味で、婚姻のあり方がアイヌ・アイデンティティに与える影響はそれほど頑強なものとはいえない。

ただし、ジェンダー差を考慮しながら婚姻関係類型を検討すると、「和人夫を持つアイヌ妻」において「否定的」な意識を持ちやすいことが明らかになった。さらに、この点とは対照的に、「和人妻を持つアイヌ夫」は、「否定的」なアイデンティティを持ちにくい。その結果として、「アイヌ配偶者を持つアイヌ」と比べた場合でも、「和人夫を持つアイヌ妻」は、「否定的」なアイデンティティを持ちやすく、「和人妻を持つアイヌ夫」は、「否定的」なアイデンティティを持ちにくかった。このように、婚姻関係のあり方によって、アイヌ・アイデンティティのパターンには違いがあるとみなすことができる。

こうしてみれば、アイヌ・アイデンティティのパターンの分化要因については、第1に、小内・長田（2012）が指摘したように、アイヌ文化の経験が影響を与えていることが改めて浮き彫りとなる。しかし第2に、それと同様に、小内・長田（2012）では必ずしも明示的に検討されていなかったアイヌの血筋も大きな影響を与えていることが明らかであろう。そのうえ、第3に、「和人配偶者を持つアイヌ」のうち、「和人妻を持つアイヌ夫」では「否定的」なアイデンティティになりにくく、「和人夫を持つアイヌ妻」では「否定的」なアイデンティティを持ちやすいという相違が見られる点も明らかとなり、その意味で婚姻関係のあり方も影響を与えている。

とはいえ、以上の点をふまえると、アイヌの人々が持つアイヌ・アイデンティティは、今後、より「肯定的」な方向へと変化していく可能性が高いといえよう。なぜなら、近年になるほど「混血化」が進みアイヌの血筋が「薄く」なりつつあり、その意味において「否定的」な意識をもたらす要因が減少する一方で、イランカラプテ・キャンペーンなどアイヌ文化の復興を意図したアイヌ政策が実施されてきており、その意味で「肯定的」な意識をもたらす要因であるアイヌ文化を経験する機会が増加しつつあるからである。

だが他方で、若い世代にとくに顕著に見られるような「脱アイヌ」意識も存在している。ここで注目すべきは、こうした「脱アイヌ」意識は、文化や純血性など他の変数の影響力を考慮しても、世代によってもたらされていたことであろう。ここからは、「混血化」という血筋の動向やイランカラプテ・キャンペーンという文化復興の動向とは関係なく、世代が持つ独自の影響によって、「脱アイヌ」的な意識へとアイヌ・アイデンティティが変化していく可能性も高い。

その意味で、アイヌの人々のアイヌ・アイデンティティのゆくえは、必ずしも確定的なものではない。それゆえ、今後も、アイヌ・アイデンティティのありように引き続き注目していく必要があるだろう。

注

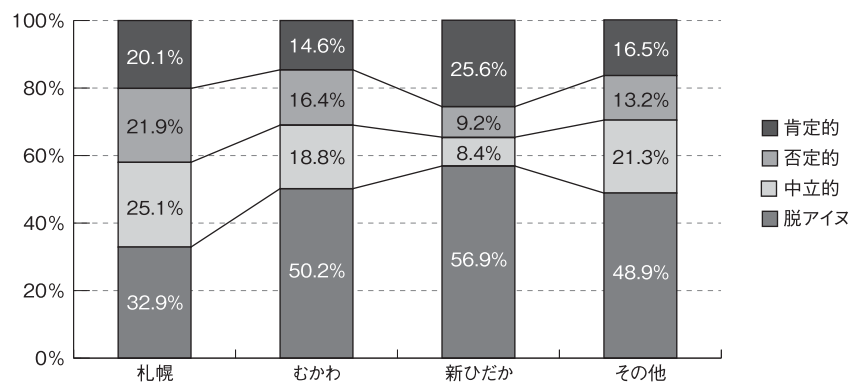
1) なお、これまで調査した地域別（札幌、むかわ、新ひだか）にアイヌ・アイデンティティを整理したのが付表4-1と付図4-1である。

ここからは、札幌では、「脱アイヌ」が32.9%、調整済み残差が-6.823と少ない一方、「否定的」が21.9%、調整済み残差が4.967と多くなっている。他方で、新ひだかでは「脱アイヌ」が56.9%、調整済み残差が2.933、「肯定的」が25.6%、調整済み残差3.746と多くなっている。むかわは、合計とほぼ同程度のアイヌ・アイデンティティの分布となっている。それゆえ、札幌では「否定的」な意識を持ちやすく、新ひだかでは「脱アイヌ」や「肯定的」な意識を持ちやすいといえる。

付表4-1 調査地域別にみたアイヌ・アイデンティティ

		脱アイヌ	中立的	否定的	肯定的	合計
札幌	度数	152	116	101	93	462
	割合	32.9%	25.1%	21.9%	20.1%	100.0%
	調整済み残差	-6.823	2.446	4.967	1.822	
むかわ	度数	313	117	102	91	623
	割合	50.2%	18.8%	16.4%	14.6%	100.0%
	調整済み残差	1.168	-1.263	1.683	-1.749	
新ひだか	度数	149	22	24	67	262
	割合	56.9%	8.4%	9.2%	25.6%	100.0%
	調整済み残差	2.933	-5.045	-2.384	3.746	
その他	度数	1,906	831	516	645	3,898
	割合	48.9%	21.3%	13.2%	16.5%	100.0%
	調整済み残差	2.099	1.864	-3.280	-1.755	0
合計	度数	2,520	1,086	743	896	5,245
	割合	48.0%	20.7%	14.2%	17.1%	100.0%

p = 0.000



付図4-1 調査地域別にみたアイヌ・アイデンティティ

2) 本報告書第3章の注3を参照。また、詳しくは、太郎丸（2005：39-40）参照。

3) 実際、「未婚アイヌ」のうち「青年層」は85.8%にもおよぶ。他方で、「アイヌ配偶者を持つアイヌ」のうち「青年層」は11.3%、「和人配偶者を持つアイヌ」のうち「青年層」は21.5%にすぎない。

4) なお、その他の変数についても表4-13から確認しておこう。まず、地域を見ると、「石狩」で「否定的」な意識を持ちやすいことや「日高」で「脱アイヌ」と「肯定的」意識を持ちやすいことなどがわかる、このように地域によってアイヌ・アイデンティティのパターンに違いが見られている。また、学歴を見ると、「大学ダミー」で「肯定的」な意識を持つ見込みが高くなっており、その意味で学歴が高いほど「肯定的」な意識を持ちやすいといえる。「知的な」能力が高い者ほど、現在のアイヌ文化の「復興」の動向を捉えているのかもしれない。さらに「暮らしぶり（15歳時）」からは、15歳時の生活が豊かであった者ほど「脱アイヌ」意識を持ちやすいことが確認できる。過去の生活において経済的に豊かであったことは、アイヌであることをそれほど意識する契機をもたらしなかった可能性がある。さらに、就業状態を見ると「自家家族従業」で「脱アイヌ」意識を持ちやすくなっ

ている。ここで、学歴・「暮らしぶり」・地域などに関しては、アイヌ文化の経験を分析した本報告書第3章でも有意な影響を及ぼしていた。それゆえ、こうした要因がもつアイヌ文化の経験やアイヌ・アイデンティティへの影響については、今後重要な論点となろう。

- 5) 他方で、「和人配偶者」においては、アイヌ・アイデンティティのジェンダー差は見られなかった。付表4-2には、表4-17で行った分析結果を、基準カテゴリを「女性×和人配偶者」として示した。そこからは、いずれの対比においても、「男性×和人配偶者」が有意ではなく、その意味で「女性×和人配偶者」と「男性×和人配偶者」にはアイヌ・アイデンティティには違いが見られない。しかし、同様のアイヌ・アイデンティティを持つといってもそれがもたらされるメカニズムは同様とは限らないだろう。和人妻は、小野寺（2012）も指摘するように「アイヌの視点」だけでなく「和人の視点」を保持していると考えられる。そしてそうした視点の二重性が「脱アイヌ」意識をもたらしめているのかもしれない。他方で、和人夫は、アイヌ妻を「嫁にもらう」という形が多いと考えられ、その意味で「アイヌの視点」を持つ契機が少ないと考えられる。それゆえ、「和人の視点」のみを持つという形で「脱アイヌ」意識がもたらされている可能性が高いだろう。このようなアイヌ・アイデンティティの形成メカニズムの相違についても、今後検討していく必要があるかもしれない。

付表4-2 多項ロジスティック回帰分析（「性別×婚姻関係類型」）
（基準：「女性×和人配偶者」）

	脱アイヌ vs 中立的				脱アイヌ vs 否定的				脱アイヌ vs 肯定的			
	B	Exp (B)	標準誤差	有意確率	B	Exp (B)	標準誤差	有意確率	B	Exp (B)	標準誤差	有意確率
男性×アイヌ配偶者を持つアイヌ	- 2.307	0.100	0.338	0.000	- 3.751	0.023	0.494	0.000	- 3.003	0.050	0.384	0.000
女性×アイヌ配偶者を持つアイヌ	- 2.291	0.101	0.314	0.000	- 3.838	0.022	0.474	0.000	- 3.081	0.046	0.362	0.000
男性×和人配偶者を持つアイヌ	- 2.397	0.091	0.272	0.000	- 3.356	0.035	0.455	0.000	- 2.895	0.055	0.331	0.000
女性×和人配偶者を持つアイヌ	- 2.658	0.070	0.264	0.000	- 4.285	0.014	0.442	0.000	- 3.139	0.043	0.324	0.000
男性×未婚アイヌ	- 2.273	0.103	0.300	0.000	- 3.291	0.037	0.474	0.000	- 2.596	0.075	0.362	0.000
女性×未婚アイヌ	- 2.478	0.084	0.309	0.000	- 3.651	0.026	0.477	0.000	- 2.714	0.066	0.375	0.000
男性×和人配偶者	0.344	1.410	0.374	0.358	0.312	1.366	0.670	0.641	0.449	1.567	0.481	0.350
女性×和人配偶者	(基準)				(基準)				(基準)			

	中立的 vs 否定的				中立的 vs 肯定的				否定的 vs 肯定的			
	B	Exp (B)	標準誤差	有意確率	B	Exp (B)	標準誤差	有意確率	B	Exp (B)	標準誤差	有意確率
男性×アイヌ配偶者を持つアイヌ	- 1.444	0.236	0.518	0.005	- 0.695	0.499	0.413	0.093	0.748	2.113	0.547	0.171
女性×アイヌ配偶者を持つアイヌ	- 1.546	0.213	0.503	0.002	- 0.789	0.454	0.398	0.047	0.757	2.131	0.533	0.155
男性×和人配偶者を持つアイヌ	- 0.960	0.383	0.489	0.050	- 0.498	0.607	0.375	0.184	0.461	1.586	0.522	0.377
女性×和人配偶者を持つアイヌ	- 1.628	0.196	0.474	0.001	- 0.482	0.618	0.366	0.188	1.146	3.146	0.508	0.024
男性×未婚アイヌ	- 1.019	0.361	0.515	0.048	- 0.323	0.724	0.413	0.434	0.696	2.005	0.551	0.207
女性×未婚アイヌ	- 1.173	0.309	0.517	0.023	- 0.236	0.790	0.424	0.577	0.937	2.552	0.557	0.093
男性×和人配偶者	- 0.031	0.969	0.738	0.966	0.105	1.111	0.571	0.854	0.137	1.147	0.795	0.863
女性×和人配偶者	(基準)				(基準)				(基準)			

- 6) ここで「和人妻を持つアイヌ夫」が「否定的」なアイデンティティを持ちにくく、「和人夫を持つアイヌ妻」が「否定的なアイデンティティ」を持ちやすい背景には、「和人夫を持つアイヌ妻」は、和人の家に「嫁ぐ」という形になることが関係しているのかもしれない。なぜなら、和人の家に「嫁ぐ」ということで、自身の「アイヌ性」を意識する契機が増えるだけでなく、そうした契機は自身の「アイヌ性」を否定的に捉えることをもたらすことが多いと考えられるからである。ともあれ、こうした論点については、別の機会で検討したい。

参考文献

- 小内透編著, 2010, 『北海道アイヌ民族生活実態調査報告 その1 現代アイヌの生活と意識——2008年北海道アイヌ民族生活実態調査報告書——』北海道大学アイヌ・先住民研究センター.
- 小内透・長田直美, 2012, 「アイヌとしてのアイデンティティの形成と変容」小内透編著『北海道アイヌ民族生活実態調査報告 その2 現代アイヌの生活の歩みと意識の変容——2009年北海道アイヌ民族生活実態調査報告書——』北海道大学アイヌ・先住民研究センター, 169-81.
- 小野寺理佳, 2012, 「アイヌ社会における和人のアイヌ性——和人妻と和人夫」小内透編著『北海道アイヌ民族生活実態調査報告 その2 現代アイヌの生活の歩みと意識の変容——2009年北海道アイヌ民族生活実態調査報告書——』北海道大学アイヌ・先住民研究センター, 123-42.
- 野崎剛毅, 2010, 「アイヌの血統とアイデンティティ」小内透編著『北海道アイヌ民族生活実態調査報告 その1 現代アイヌの生活と意識——2008年北海道アイヌ民族生活実態調査報告書——』北海道大学アイヌ・先住民研究センター, 19-26.
- 新藤こずえ, 2013, 「エスニック・アイデンティティの諸相」小内透編著『調査と社会理論・研究報告書 30 新ひだか町におけるアイヌ民族の現状と地域住民』北海道大学大学院教育学研究院教育社会学研究室, 51-67.
- 太郎丸博, 2005, 『人文・社会科学のためのカテゴリカル・データ解析入門』ナカニシヤ出版.

(上山浩次郎)